

保存版

上勝町

総合

防災マップ

上勝町ハザードマップ

はじめに

避難情報
警戒レベル

指定避難所等
要配慮者利用施設

土砂災害

地震災害

地震防災について

ハザードマップ

災害時の連絡方法

防災情報

地域防災

わが家の備え

非常持ち出し品
わが家の防災文庫



自分自身と
大切な家族を守るために



はじめに

はじめに

避難情報と警戒レベル

指定避難場所利用指

土砂災害

地震災害

地震防災について

ハザードマップ

災害時の連絡方法

防災情報

地域防災

わが家の備え

非常持ち出し品

わが家の防災メモ

災害は、とき・ところ・ひとを選びません。この上勝町総合防災マップ（ハザードマップ）には、災害に備えて日ごろから取り組んでもらいたいこと、実際に災害が起きたときに身をまもるためにとるべき行動が書いてあります。

自宅の危険度を知ろう

この総合防災マップには、土砂災害の危険度や地震時の震度予測などが示されています。まずは自宅やその近所でどんな災害が想定されているのかを知り、非常時の家族の集合場所や避難先を話し合いましょう。



もくじ

■はじめに	1P	■上勝町ハザードマップ索引図	15-16P
■避難情報と警戒レベル	2P	■上勝町ハザードマップ	
<ul style="list-style-type: none"> ● 避難のタイミング ● 避難のポイント 			
■指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所	3P	<ul style="list-style-type: none"> ● 上勝町内における避難所一覧 	
■「災害時における要配慮者」「避難行動要支援者」「要配慮者利用施設」	4P	<ul style="list-style-type: none"> ● 「災害時における要配慮者」「避難行動要支援者」について ● 要配慮者利用施設とは ● 上勝町における要配慮者利用施設一覧 	
■土砂災害	5P	■上勝町(正木ダム下流)浸水想定図	57-58P
<ul style="list-style-type: none"> ● 土砂災害の種類と前兆現象 ● 土砂災害警戒区域について 			
■地震災害	6P	■災害時の連絡方法	59-60P
<ul style="list-style-type: none"> ● 地震発生時の心構えと行動のポイント ● 地震の揺れと想定される被害 			
■巨大地震(震度分布)	7-8P	■防災情報	61-62P
<ul style="list-style-type: none"> ● 上勝町の被害想定 ● 南海トラフ巨大地震 ● 中央構造線断層帯による直下型地震 ● 8つの活断層帯 ● 8つの活断層帯による震度分布図 			
■緊急地震速報	9P	■地域防災	63P
<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急地震速報が聞こえたら 			
■南海トラフ地震に関する臨時情報	10P	■わが家の備え	64P
<ul style="list-style-type: none"> ● 臨時情報の種類 			
■津波について	11P	■非常持ち出し品	65P
<ul style="list-style-type: none"> ● 津波危険地帯 ● 津波警報と避難のタイミング 			
■耐震診断・住まいの耐震化	12P	■上勝町全域ハザードマップ B1版 西部／東部 ● 徳島県立防災センター	66P
■地震防災について	13-14P	■緊急時連絡先・お問い合わせ	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地震発生時どのように行動したらいいか? ● 揺れがあさまってからの行動 ● 避難時の心得 			
■わが家の防災メモ			

避難情報と警戒レベル

ここ重要

避難のタイミング 命を守る!

警戒レベル4で
全員避難!



気象状況や災害の状況に応じ、上勝町は住民のみなさんがとるべき避難行動を、「避難情報」として発令します。避難情報には、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすいよう、5段階の警戒レベルのうち「3~5」のいずれかを付して次のようななかたちで発令します。

警戒レベル	避難情報	みんなさんがとるべき行動(避難行動)	防災気象情報(気象庁発表)
警戒レベル 5 既に災害が発生	避難指示(緊急) <災害発生情報>	【命を守る最善の行動】 既に災害が発生している状況です。	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 氾濫発生情報等
警戒レベル 4 全員速やかに避難	避難指示(緊急) 避難勧告	速やかに避難場所へ避難をしましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報等
警戒レベル 3 高齢者等は避難開始 その他の人は避難の準備	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	警戒レベル3相当情報 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報等
警戒レベル 2		避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	警戒レベル2 大雨注意報 洪水注意報等
警戒レベル 1		災害への心構えを高めましょう。	警戒レベル1 早期注意情報

※避難情報は、必ずしも段階的に発令されるものではありません。

※気象庁からは、気象注意報・警報、土砂災害警戒情報、河川水位情報等の防災気象情報により、警戒レベル1、2・警戒レベル3~5相当情報として発表されます。(多くの場合、町の避難情報より先行して発表されます)

避難のポイント 命を守る!

避報情報だけでなく前兆現象や雨の状況から危険を感じたら早めの避難!!

●水平避難(立ち退き避難)

自宅が土砂災害や洪水などで危険が迫っているとき、避難所や安全な知人、友人宅等へ避難をすることを水平避難といいます。危険から逃れるため、避難場所等に逃げるという行為はとても重要となります。



●垂直避難(屋内安全確保)

災害が直近に迫っているが、時間的な猶予がない場合や避難行動をとることが逆に危険な場合もあります。このようなときに、現在の場所で少しでも安全を確保するため、自宅の二階や近隣の頑丈な建物の比較的高い階に避難することを垂直避難といいます。



●その場に留まる(待避)

現在いる場所が、危険が迫っている事案に対して、安全の確保ができる場合は、その場に留まることが最善の選択となります。

警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、避難勧告等が発令されていても危険度分布や土砂災害警戒情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。
避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所

ここ
ポイント

上勝町内における避難所一覧

番号	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所	施設名	施設住所	電話番号	指定緊急避難場所						国民保護
							洪水	土砂災害	地震	内水氾濫	火事大規模な	ミサイル	
①	●	●		高鉢公民館	正木字中津66	050-3438-9329	●	●	●	●	●	●	●
②	●	●		傍示定住センター(体育館)	傍示字下地65-1	050-3438-7370	●	●	●	●	●	●	×
③	●	●		福原ふれあいセンター	福原字平間45-2	050-3438-8230	●	●	●	●	●	●	×
④	●	●		上勝町コミュニティセンター	福原字下横峯3-1	050-3438-8412	●	●	●	●	●	●	●
⑤	●	●		上勝町基幹集落センター	旭字蔭66	050-3438-7297	●	●	●	●	●	●	●
⑥		●		上勝小学校体育館	正木字平間179	—							
⑦		●		上勝中学校	生実字東戸越73	0885-46-0015							
⑧		●		上勝中学校体育館	生実字東戸越177-2	—							
⑨		●		旭へき地集会室(体育館)	旭字中村53	—							
⑩		●	●	上勝町老人福祉センター	正木字平間110-1	0885-45-0111							
⑪		●	●	上勝町在宅介護支援センター	正木字西浦111-7	0885-44-5111							
⑫		●	●	養護老人ホーム健祥会エジンバラ	民間施設	正木字西浦25-3	0885-45-0811						
⑬		●	●	特別養護老人ホーム健祥会ビーター	民間施設	正木字西浦25	0885-45-0772						
⑭		●	●	ケアハウス鳩の家	民間施設	正木字西浦25	0885-45-0773						

*上記の指定緊急避難場所の5施設は、指定避難所と重複しています。

指定緊急避難場所とは

災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、その危険から逃れるため、一時的に避難する場所(施設)で、災害種別ごとに指定しています。



指定避難所とは

災害が発生した後に、被災により自宅で生活できない方々が一定の期間、避難生活するための施設です。



※災害の状況に応じて開設します。

福祉避難所とは

福祉避難所とは、災害が発生した後に、指定避難所では避難生活が困難な、高齢者や障がい者、妊婦など、特別な配慮を必要とする方々を対象に開設される避難所です。



避難する場合のお願い

●早めの避難を!

台風や大雨が続いている場合、危険だと感じたら、迷わず避難するようお願いします。特に土砂災害警戒区域内に居住されている方、移動に時間のかかる高齢者や体が不自由な方は早めの避難を心掛けてください。自主避難をされたい方は、上勝町役場 総務課(0885-46-0111)までお問い合わせください。

●避難する場合はご連絡を!

避難される場合は安否確認等が必要です。必ず施設管理人または、上勝町役場 総務課(0885-46-0111)まで、ご連絡をお願いします。

●避難する場合に持参するもの!(台風や大雨等、あらかじめ避難が予想される場合)

毛布や食料を持参してください。指定緊急避難場所(5施設)には、冷暖房設備がありますが、温度調節ができるよう衣類も一枚余分に持参してください。

※但し、緊急を要する場合は、まず避難することを優先してください。

「災害時における要配慮者」「避難行動要支援者」「要配慮者利用施設」

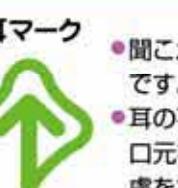
「災害時における要配慮者」、「避難行動要支援者」について 知る !

「要配慮者」とは、高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する人のことをいいます。
「避難行動要支援者」とは、「要配慮者」のうち災害が発生し、または災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難であり、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を要する人のことをいいます。



地域が一体となって、安否確認や避難所への移動など、災害時における要配慮者への支援にご協力をお願いします。

こんな「マーク」も知っておこう



耳マーク

- 聞こえが不自由であることを表すマークです。
- 耳の不自由な方と話すときは「はっきりと口元を見せて話す」「筆談をする」等の配慮をお願いします。

ヘルプマーク



- 援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。
- 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方のほか、発達障害、精神障害や知的障害がある方などが援助を得やすくするためのものです。

要配慮者利用施設とは 知る !

要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設など、主として防災上の配慮を要する人々が利用する施設のことです。

上勝町内における要配慮者利用施設一覧

番号	施設名	施設住所	種別	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
				イエローゾーン	レッドゾーン
1	● 養護老人ホーム健祥会エジンバラ	正木字西浦25-3	養護老人ホーム	急傾斜地	急傾斜地
2	● 特別養護老人ホーム健祥会ビーター	正木字西浦25	特別養護老人ホーム	急傾斜地	—
3	● ケアハウス鳩の家	正木字西浦25	ケアハウス	急傾斜地	—
4	● 彩保育園	正木字平間179	保育所	急傾斜地	—
5	● 上勝小学校	正木字平間179	小学校	急傾斜地	—
6	● 上勝中学校	生実字東戸越73	中学校	土石流	—

(注)上記の要配慮者利用施設(6施設)は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域内に位置し、土砂災害が発生するおそれがある場合に当該要配慮者利用施設の利用者の円滑かつ迅速な避難を確保する必要があるとして上勝町地域防災計画に記載されている施設です。

7	● 健祥会デイサービスセンター上勝(上勝町在宅介護支援センター)	正木字西浦111-7	通所介護	
8	● 上勝あすなろクラブ(上勝町老人福祉センター)	正木字平間110-1	放課後児童クラブ	

● 上勝町地域防災計画に記載されている施設 ● 上勝町地域防災計画に記載されていない施設

土砂災害

土砂災害から身を守るために、日ごろから土砂災害警戒区域などの土砂災害のおそれのある箇所や前兆現象を知っておくとともに、雨量情報なども参考にし、早めに避難することが大切です。

土砂災害の種類と前兆現象 覚える！

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)



土石流



地すべり



土砂災害警戒区域について 覚える！

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、住民の生命や身体に危険が生じるおそれがある区域

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)



⚠ 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときは警戒避難が必要となる可能性がありますので、避難勧告の情報にも注意してください。

！ 土石流から逃げるには…

土石流に遭遇した場合には、図のように、土砂の流れる方向に対して、直角の方向へ逃げるようにしましょう。



地震災害

地震は他の自然災害と違って予測することができません。いつどこで地震が発生してもあわてず身を守る行動ができるように心構えと準備が必要です。日本に地震の影響を受けない場所はどこにもないと思っていたほうがよいでしょう。

ここ
ポイント

地震発生時の心構えと行動のポイント 命を守る！

地震発生

発生
1~2分

発生
3分

発生
5分

発生
10分

● 発生数時間
● 発生3日くらい

最初の激しい揺れは約1分程度

- まず、身を守る 机の下などへ避難。あわてて外へ飛び出さない。
- 素早く火を消す 危険が伴うので無理はしない。
- 非常脱出口の確保 ドア・窓を開ける。



揺れがおさまたらまず火の始末

- 火元の確認 火が出ていたら、あわてずに初期消火。
- 家族の安全確認 倒れた家具の下敷きになっていないか確認。
- 靴を履く ガラスの破片や散乱物から足を守る。



余震に注意しつつ隣近所の安全確認

- 隣近所への声かけ けが人、行方不明者がいないかを確認。
- 近所に火が出ていたら初期消火 大声で知らせて、消火器、バケツリレーなど、近隣で協力して消火を。
- 余震に注意



デマにまどわされず、正確な情報を収集

- 正しい情報を聞く ラジオや役場、防災行政無線の情報を聞く。
- 電話はなるべく使わない 安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル」で。
- 家屋倒壊の危険があればすぐに避難! 避難するときはガス栓を閉め、ブレーカーを落とす。



避難後は助け合いの心で行動を

- 助け合いの心が大切 力を合わせて消火活動、救出・救護活動。
- 水・食料は蓄えているもので 3日分の飲料水と食料は備蓄しておく。
- 壊れた家には入らない 無理をして、二次被害を起こさない。
- 災害情報・支援情報の収集 引き続き余震に注意。



地震の揺れと想定される被害 命を守る！

震度
6 強

- 立っていることができず、はねないと動くことができない。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。

震度
6 弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたり、倒れたりする。

震度
5 強

- 物につかまらないと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本が落ちることが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

巨大地震(震度分布)

南海トラフ巨大地震
中央構造線断層帯直下型地震
活断層地震

上勝町の被害想定

南海トラフ巨大地震

冬の深夜に発生した場合

知る !

建物全壊	200棟
建物半壊	360棟
死者数	10名
負傷者数	90名
重傷者数	20名



南海トラフ巨大地震……震度分布図

液状化危険度分布図

上勝町の最大震度 —— 震度6強



中央構造線断層による直下型地震

知る !

震度分布図

徳島県では、讃岐山脈南縁部に国内有数の断層帯である「中央構造線断層帯」が東西に横断しており、これを震源とする直下型地震が発生すれば吉野川北岸を中心として甚大な被害が予想されます。

上勝町の最大震度 —— 震度5強



スマホ・パソコンで情報収集 ■上勝町HP(巨大地震について) <http://www.kamikatsu.jp/docs/2018062200069/>

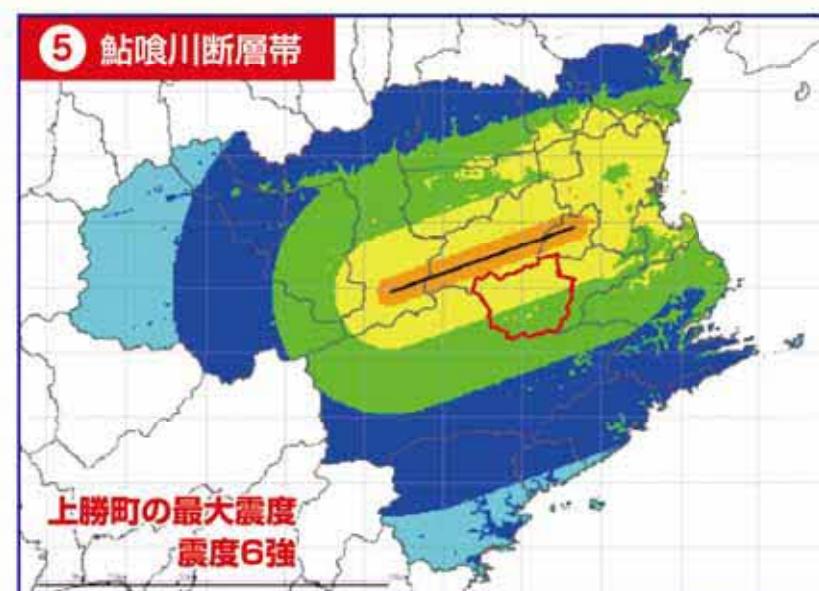
8つの活断層帯 知る !

徳島県内に影響を与えることが予測される活断層帯は、中央構造線断層帯以外に、8つあります。そのなかでも、鮎喰川断層帯を原因とする直下型地震が発生した場合、震源地が近いことから、上勝町では、最大震度「6弱」となり、南海トラフ巨大地震に匹敵する被害をもたらす可能性があります。



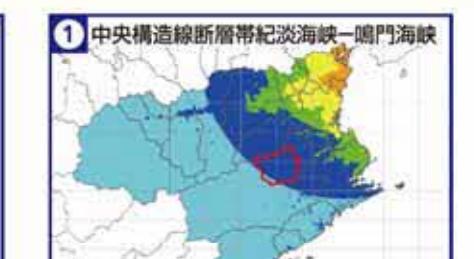
8つの活断層による震度分布図

⑤ 鮎喰川断層帯

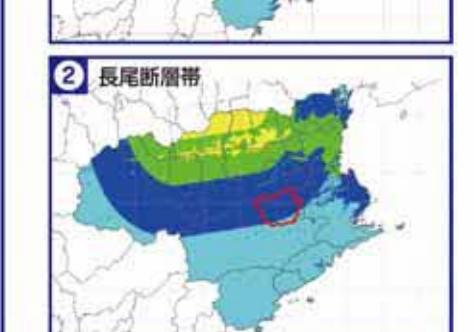


上勝町の最大震度
震度6強

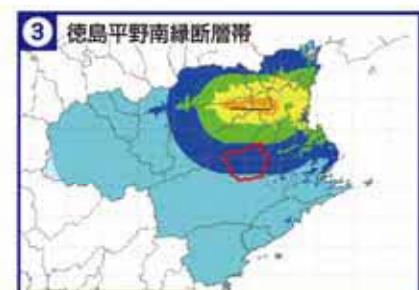
① 中央構造線断層紀淡海峡一鳴門海峡



② 長尾断層



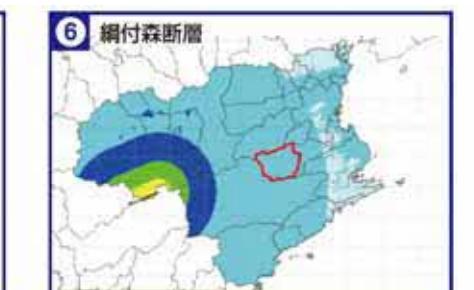
③ 徳島平野南縁断層帯



④ 江畠断層



⑥ 網付森断層



⑦ 安田断層



⑧ 行当岬断層



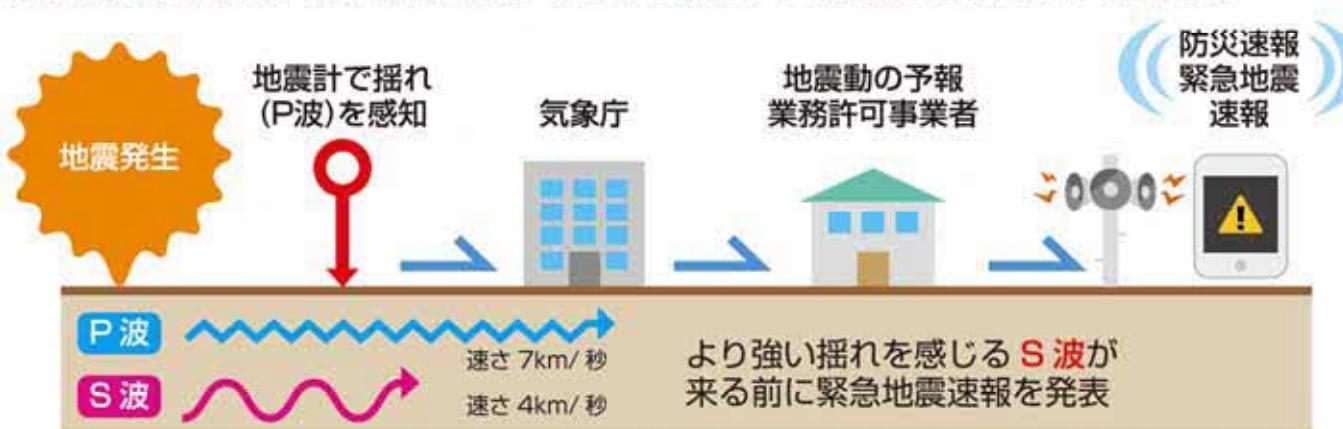
震度階級
震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱
震度4
震度3以下

緊急地震速報

地震による強い揺れに備えて、身を守るための警報です

緊急地震速報は、最大震度5弱以上の揺れが予想されたときに、テレビ・ラジオ・携帯電話(緊急速報メール)・防災行政無線を利用して住民のみなさんに伝えられます。

緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れがくるまでの時間は、わずか数秒から数十秒しかありません。



緊急地震速報が聞こえたら 覚える！あわてず、まず身の安全を！

屋内にいるとき（家庭では）

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
- あわてて外に飛び出さないでください。
- 無理に火を消そうとしないでください。



運転中は

- あわてて速度を落とさないでください。
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
- 急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落としてください。
- 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。
- 緊急車両などが通るため、車を離れる場合はキーをつけたまま離れてください。



屋外にいるとき（街中では）

- ブロック塀の倒壊などに注意してください。
- 看板や割れたガラスの落下に注意してください。
- 丈夫な建物のそばであれば、建物の中に避難してください。



屋外にいるとき（山やかけ付近では）

- 落石やかけ崩れに注意してください。



「シェイクアウト訓練」をやってみよう!!

Jアラート(全国瞬時警報システム)による「全国一斉緊急地震速報訓練」を年2回(6月頃、11月頃)実施しており、上勝町でも防災行政無線(屋外スピーカー)を通じて訓練放送を実施しています。住民のみなさんも、この訓練に合わせて「シェイクアウト訓練」(安全確保行動1-2-3)右図の要領で実施してみてください。

とき 緊急地震速報訓練時(防災行政無線の訓練放送を開始の合図とします)

ところ その時、あなたがいる場所で(自宅や会社、学校など)

訓練方法 机の下に隠れたり、身をかがめるなどの「安全確保行動」を約1分程度実施

訓練は3つの安全確保行動をその場で行うだけ！

安全確保行動 1-2-3



出典：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議
(<http://www.shakeout.jp/>)

南海トラフ地震に関する臨時情報

「南海トラフ地震に関する情報」は、「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の2種類で、平成29年11月1日から運用されています。

南海トラフ地震が発生する可能性が相対的に高まり、防災対応をとる必要があると判断された場合に、気象庁より「臨時情報」が発表されます。

臨時情報の種類

覚える！

半割れ「臨時情報(巨大地震警戒)」

警戒、避難を呼びかけます

南海トラフの東側または、西側のどちらか一方で、大規模地震(M8クラス)が発生した場合、反対側(残りの領域)でも大規模地震が発生する可能性が高くなることから発表され、1週間程度の避難を呼びかけます。

地震は一度では終わらないかも

過去の事例

1854年
安政東海地震
M8.6

1944年
昭和東南海地震
M8.2

1854年
安政南海地震
M8.7

1946年
昭和南海地震
M8.4

一部割れ「臨時情報(巨大地震注意)」

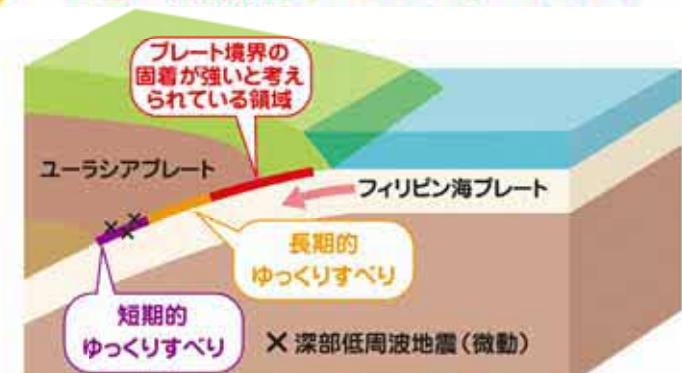
注意、警戒体制をとるよう呼びかけます

南海トラフ沿いで、部分的に地震(M7クラス)が発生した場合、南海トラフ地震の前震である可能性があることから発表され、南海トラフ地震の発生に備えて注意や警戒体制をとるよう呼びかけます。

ゆっくりすべり「臨時情報(巨大地震注意)」

注意、警戒体制をとるよう呼びかけます

東海地震予知情報の判定基準とされていたような、プレート境界面でのすべりが発生した場合に発表され、南海トラフ地震の発生に備えて注意や警戒体制をとるよう呼びかけます。



「南海トラフ地震臨時情報」の発表に伴う避難所の開設について

上勝町では、「南海トラフ地震臨時情報」のうち、半割れ「臨時情報(巨大地震警戒)」が発表された場合、指定緊急避難場所を開設(1週間程度)することとしています。土砂災害警戒区域内に居住されている方や耐震性を有しない住家にお住まいの方は、避難するようにしてください。

津波について

津波から逃げるには、考えている時間はありません。早く近くの高いところへ避難してください。また、津波は第1波だけではなく、第2波、第3波と長時間にわたり繰り返しやってきます。

上勝町は、内陸部のため津波の心配はありませんが、地震はいつ起きるかわかりません。南海トラフ巨大地震の震度モデルをもとにあらゆる可能性を考えた「最大クラスの地震・津波」の想定では、徳島県の沿岸部8市町と北島町(全域)と藍住町(一部)で津波の影響を受け、最大津波高は20.9m(美波町)にもなります。

あなたのよく訪れる場所が、津波の影響がある場所なのかを事前に知っておきましょう。



津波危険地帯

覚える !



このマークは、津波危険地帯を示します。

このマークを目についたら、津波避難場所がどこにあるかあわせて確認するようにしましょう。

津波浸水想定区域

津波による浸水が予想される地域が「津波浸水想定区域」です。

県内各地の想定最大津波高 (沿岸部8市町)			
鳴門市	松茂町	徳島市	小松島市
8.2m	6.2m	6.2m	6.0m
阿南市	美波町	牟岐町	海陽町
16.3m	20.9m	13.4m	18.4m



出典：徳島県防災・減災マップ

徳島県のホームページで公表されていますので、事前に確認しておきましょう。

徳島県防災・減災マップ

<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/bousai/>

津波警報と避難のタイミング

覚える !

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後から約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。その後、「予想される津波の高さ」「津波の到達予想時刻」等の情報が発表されます。

避難のタイミング

- 海岸で地震の揺れを感じたら「津波警報・注意報」を待たずに避難！
- 地震の揺れを感じなくても「津波警報・注意報」が発表されたら避難！

避難時の注意事項

- 周囲の方にも声をかけて一緒に避難！
- 安全が確認されるまでは、避難場所から帰らない！



耐震診断・住まいの耐震化



上勝町では、住まいの耐震化を促進するため、県補助金に町単独補助金を上乗せし、耐震化の支援を行っています。今後高い確率での発生が予測されている南海トラフ巨大地震において、上勝町では最大震度6強の揺れが想定され、このような大地震発生時における住宅の倒壊などによる被害を軽減するための対策として住まいの耐震化を進めていくことが重要です。その一歩として、まずは耐震診断からはじめましょう。

支援メニューは6種類 知る !

■ 耐震診断

耐震診断

大規模な地震に対する安全性を判定

費用(自己負担)
3,000円

上勝町は
無料!

要件

- 木造(在来輪構法、伝統構法、枠組壁工法等)
- 平成12年5月31日以前に着工
- 3階建て以下
- 住宅(併用住宅、共同住宅、長屋、借家、空き家を含む)
- 耐震診断員(建築士)がご自宅を訪問し、現地調査(2時間程度)
- 後日、耐震診断員が再度訪問し、診断結果を説明

■ 補強計画

補強計画

改修工事の参考となる補強計画を提示

費用(自己負担)
6,000円

要件

- 耐震診断で、評点1.0未満(倒壊する可能性がある)と判定
 - 耐震診断員(建築士)がご自宅を訪問し、改修の要望を聞き取り
 - 後日、耐震診断員が再度訪問し、補強計画の提案と概算費用を提示
- *平成25年度以前に耐震診断を受けられた場合は再度、耐震診断から行う必要があります。
※耐震シェルター設置支援事業や住替え支援事業を予定している場合はお申し込みできません。

■ 改修工事

耐震改修支援事業

住み続けたいので本格的に補強(1.0以上)

補助上限(補助率4/5)

100万円+10万円+最大30万円

(上勝町上乗せ)

要件

- 耐震診断で、評点1.0未満と判定

必須事項

- 改修後の評点を1.0以上(一応倒壊しない)とする工事
- 高さ1.5m以上の家具の固定
- 県登録の施工者等が施工
- のぼり旗設置や見学会等への協力

耐震シェルター設置支援事業

住宅が倒壊しても命は守りたい

補助上限(補助率4/5)

耐震シェルター **最大80万円**

耐震ベッド **最大40万円**

要件

- 耐震診断で、評点1.0未満と判定

必須事項

- 耐震シェルター、または耐震ベッドの設置
- 高さ1.5m以上の家具の固定
- 県登録の施工者等が施工
- 啓発モニターとして協力

*徳島県で認定している耐震シェルターに限ります。
R2.3月現在は2社(株とくしま防災ネット、フレッセ)

詳しく述べ

上勝町役場 建設課、または徳島県住宅課 建築指導室へご相談ください。

■上勝町役場 建設課 0885-46-0111

■徳島県住宅課 建築指導室 088-621-2598

住まいのスマート化支援事業

耐震改修にあわせて住まいをスマート化

補助上限(補助率2/3)

最大30万円

要件

- 耐震改修支援事業又は耐震シェルター設置支援事業と併せておこなう

必須事項

- 情報技術等を活用した設備を設置するスマート化工事

例

- 見守り機能付きトイレの設置 等

*その他省エネルギー化工事、バリアフリー化工事等も対象

住替え支援事業

住替えや建替えに伴い古い住宅を壊したい

補助上限(補助率2/5)

最大30万円

要件

- 耐震診断で、評点0.7未満(倒壊する可能性が高い)と判定
- 昭和56年5月31日以前に着工
- 現在居住している住宅

必須事項

- 住宅のすべてを撤去
- 解体業者が施工

対象にできる工事

- 危険なコンクリートブロック塀の撤去等

県のホームページからも確認できます

QRコード

まつなし住まいの耐震化 検索

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/taishinka/>

地震防災について

地震が起きてても、あわてずに行動しましょう。

スマホ・パソコンで情報収集 ■上勝町HP(巨大地震について) <http://www.kamikatsu.jp/docs/2018062200069/>

地震発生時どのように行動したらいいか? 覚える!

自分や家族の安全を守るためにには、地震が発生しても、あわてずに行動できるかがポイントになります。いざというときにパニックにならないように、標準的な行動パターンを覚えておきましょう。

家にいる時

机やテーブルなどの下にもぐり、身の安全を確保しましょう。
戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。



台所

テーブルなどの下に身を伏せ、揺れがおさまるのを待ちましょう。
コンロの近くの場合、調理器具が滑り落ちてくる場合があるので、コンロの近くから離れ、揺れがおさまったら落ち着いて火を消しましょう。



職場

職場ではキャビネットや棚、ロッカー、コピー機などから離れ、頭部を守り、机の下に隠れるなど身を守りましょう。
OA機器などの落下に注意しましょう。



学校

教室内では、机の下にもぐって落下物などから身を守り、あわてて外に飛び出すなど勝手な行動はせずに、教職員の指示にしたがいましょう。



スーパー

バッグや買い物かごなどで頭を保護し、商品棚など倒れやすいものから離れましょう。



エレベーター

全ての階のボタンを押し、最初に停止した階でおりるのが原則ですが、停止した階であわてておりるのはなく、階の状況を見極めるのも大切です。



電車

緊急停車に備え、けがをしないように姿勢を低くしたり、手すりやつり革をしっかりと握りましょう。



屋外

ブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。
ガラスの破片、看板などが落下してくることがあります。頭の上にも注意しましょう。



運転中

ハンドルをしっかりと握り、緩やかに速度を落とし、道路の左側に停車しましょう。
揺れがおさまるまでは車外に出ず、ラジオから情報を入手しましょう。
緊急車両などが通るため、車を離れる場合はキーをつけたまま離れましょう。



揺れがおさまってからの行動 覚える!

① 火を消す

- 揺れがおさまったら火を消す。
- 火が消えていてもガスが漏れている場合があるので、ガスの元栓も閉める。



② 落下物や足元に注意

- 歩くときは、落下物や散乱したガラス・蛍光灯の破片などに注意する。
- 家中を歩くときもヘルメット等で頭を保護し、靴を履くなどする。
- 近くにヘルメットや靴がない場合は、鍋やスリッパ等で代用する。



③ 暖房器具の電源を落とす

- 揺れによりストーブなどの暖房器具が倒れている可能性があり、火災の原因になるので確認する。
- 電気が復旧したら、暖房器具が勝手につき、火災の原因になる場合もあるためコンセントを抜く。



④ ブレーカーを落とす

- 停電の場合
避難中に電気が復旧する可能性があり、通電火災を防ぐためブレーカーを落とす。
- 停電していない場合
漏電による火災の可能性があるため、ブレーカーを落とす。



下敷きになつたら

家具の下敷きになつたら、大声で助けを求める。
多くの人たちが駆けつければ、その分助け出される可能性が高まる。
助け出立場になったとしても、一人で解決しようとせずに近所の人たちと力を合わせて救出する。

火災が発生したら

出火したら常備してある消火器で初期消火を行う。
1本の消火器で消せなくても、数本あれば消せる場合もあるため、「火事だ!」と大声で叫び近所の人たちに知らせる。

※個人でできるのは初期消火まで。
大きな火災の場合は、逃げることを最優先に考える。

避難時の心得 覚える!

非常用品はリュックに入れる

※非常持ち出し品は事前に用意しておきましょう。



徒歩で避難する

- 自動車での移動は交通渋滞の原因となり、緊急車両の通行の妨げとなるのでなるべく避ける。
- 道路に亀裂が生じたり、マンホールなどが隆起しているおそれがあるので注意する。



安全を確保しながら避難する

- 身の安全を確保しながら避難所に行く。
- 事前に避難所の場所や危険箇所を記したハザードマップなどを確認しておく。
- 「災害伝言ダイヤル」や「災害伝言板」などを使い、家族にメッセージを残す。



近所同士で助け合う

- 大規模な災害では、家族や近所の人の協力による救助や応急手当が生死を分けるため、お互いの家族構成やライフスタイルを知らせ合うなど、普段からの交流を大切にする。
- 避難の際も、近所で声をかけ合う。



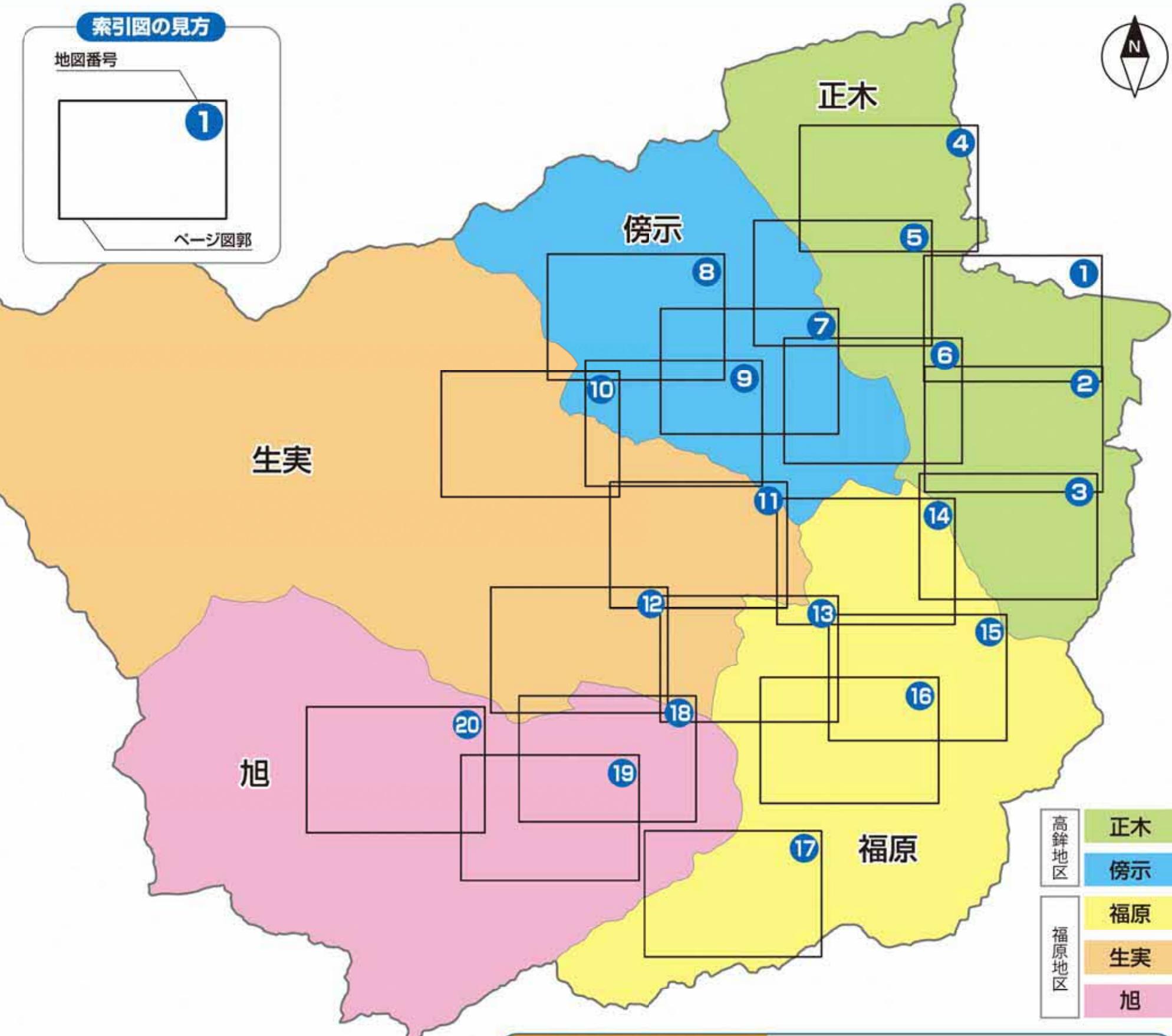
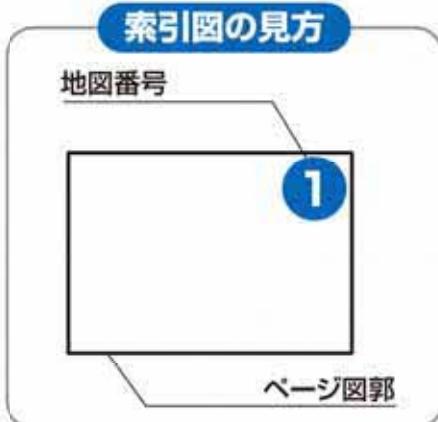
余震による二次災害に注意

- 建物が余震などで崩れてくる可能性があるため、自治体や気象庁が発表する余震情報、危険箇所に関する情報、気象情報に留意する。
- 急な斜面や家屋にはできるだけ近づかないようにする。



上勝町 ハザードマップ索引図

地図番号	地区名(行政区)							ページ
1	高野	作り道	蔭地	上寺内	中寺内	下寺内		17-18
2	杉山	柳谷	下寺内					19-20
3	柳谷							21-22
4	楓地	中津賀						23-24
5	中津賀	西中	南岡	上寺内	新町			25-26
6	若生	折坂						27-28
7	新町	堂久保	平間	中寺内	下寺内			
8	下地	西谷	西峯	蔭井谷	中央			
9	折坂	中央	蔭井谷	西峯	鹿子山	下平		29-30
10	梅木							
11	下平	梅木						31-32
12	梅木	鹿子山	日浦	谷口				33-34
13	日浦	大北						35-36
14	戸越	角屋	高畑	中瀬津	府殿			37-38
15	府殿	上樫原	下樫原	久保	影	日ノ浦		39-40
16	影	日ノ浦	下野	川西				41-42
17	横峯	荒瀬	川北	古川				
18	上日浦	下日浦						43-44
19	上日浦	川北	古川	平間	東中山	蔭行		45-46
20	川北	古川	平間	喰田	東中山	西中山		47-48
21	杉地							49-50
22	神田	大平	堂平	中村	中央	神明		51-52
23	葛又	上菅藏	下菅藏					
24	中村	中央	神明	葛又	上菅藏	下菅藏		53-54
25	中市宇	下市宇						
26	上市宇	中市宇	下市宇	北八重地	西八重地			55-56



徳島県水防・砂防情報マップ <https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/>

- 土砂災害リスクマップ(土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域)
- 水害災害リスクマップ(洪水浸水想定区域)

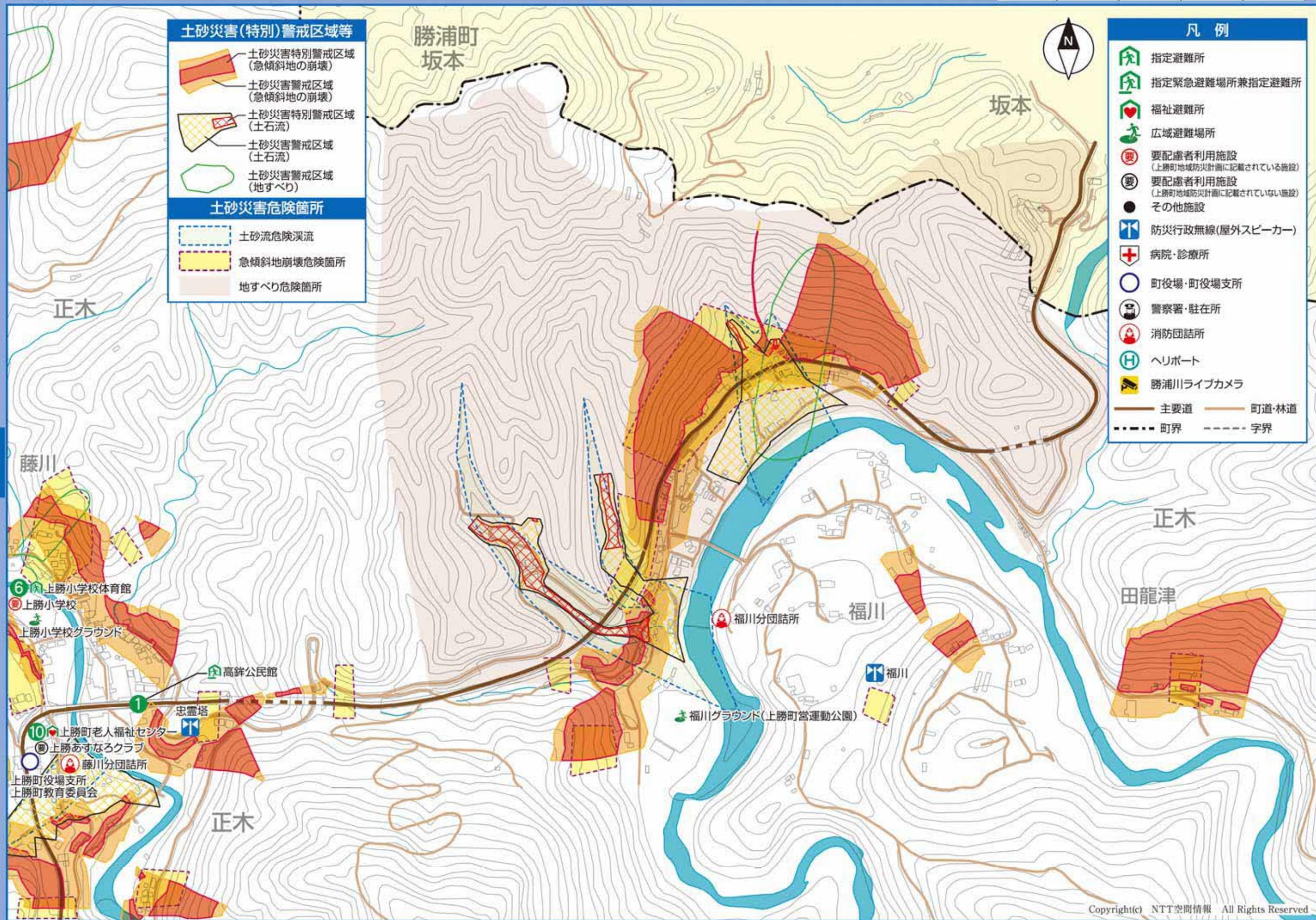
※土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所等の要件や種別を任意で選択でき、各種ハザードマップの作成も可能。

※背景地図も7種類から選択可能(国土地理院地図、Google 航空写真 etc)

上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

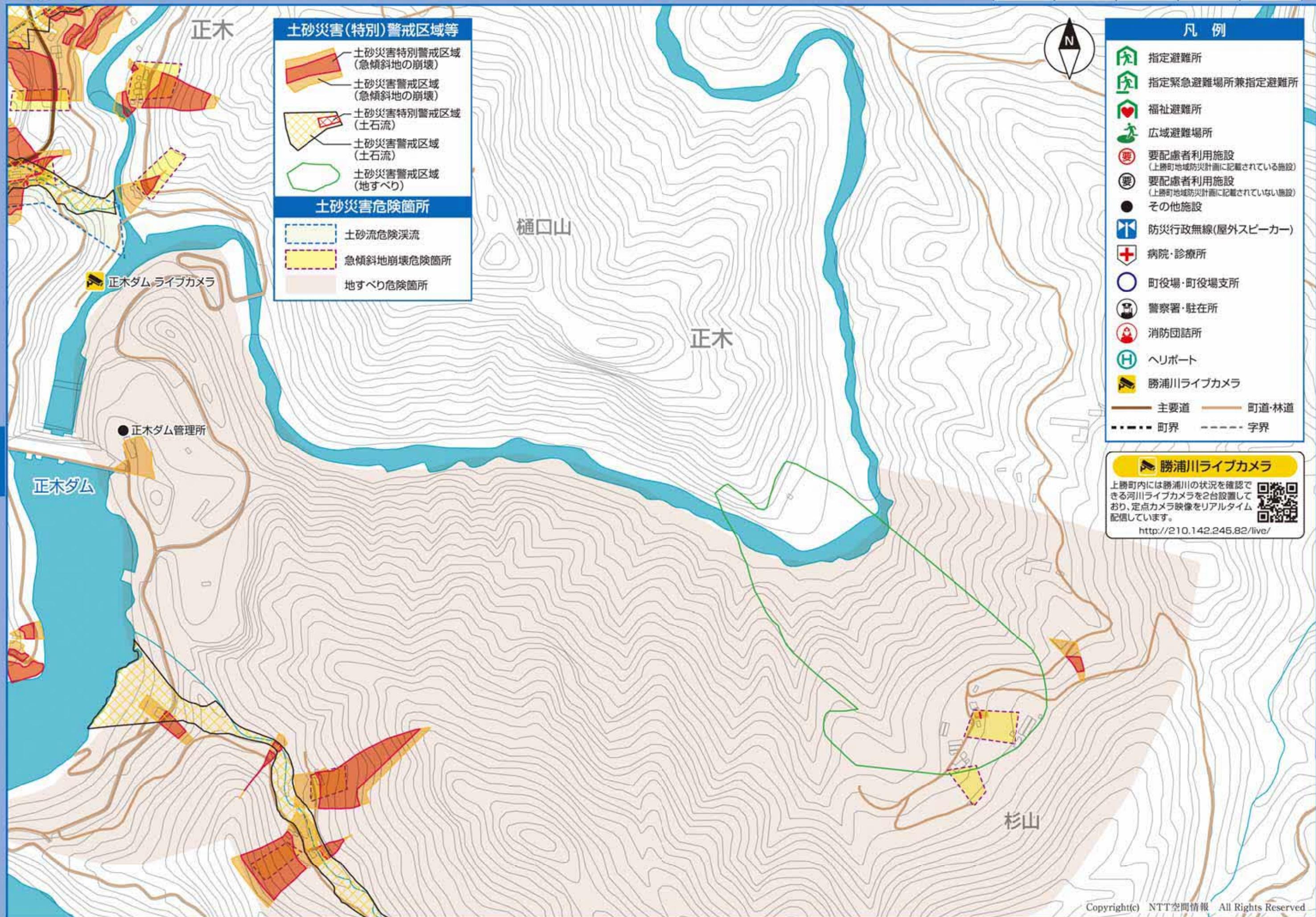
地図番号
1



上勝町 ハザードマップ

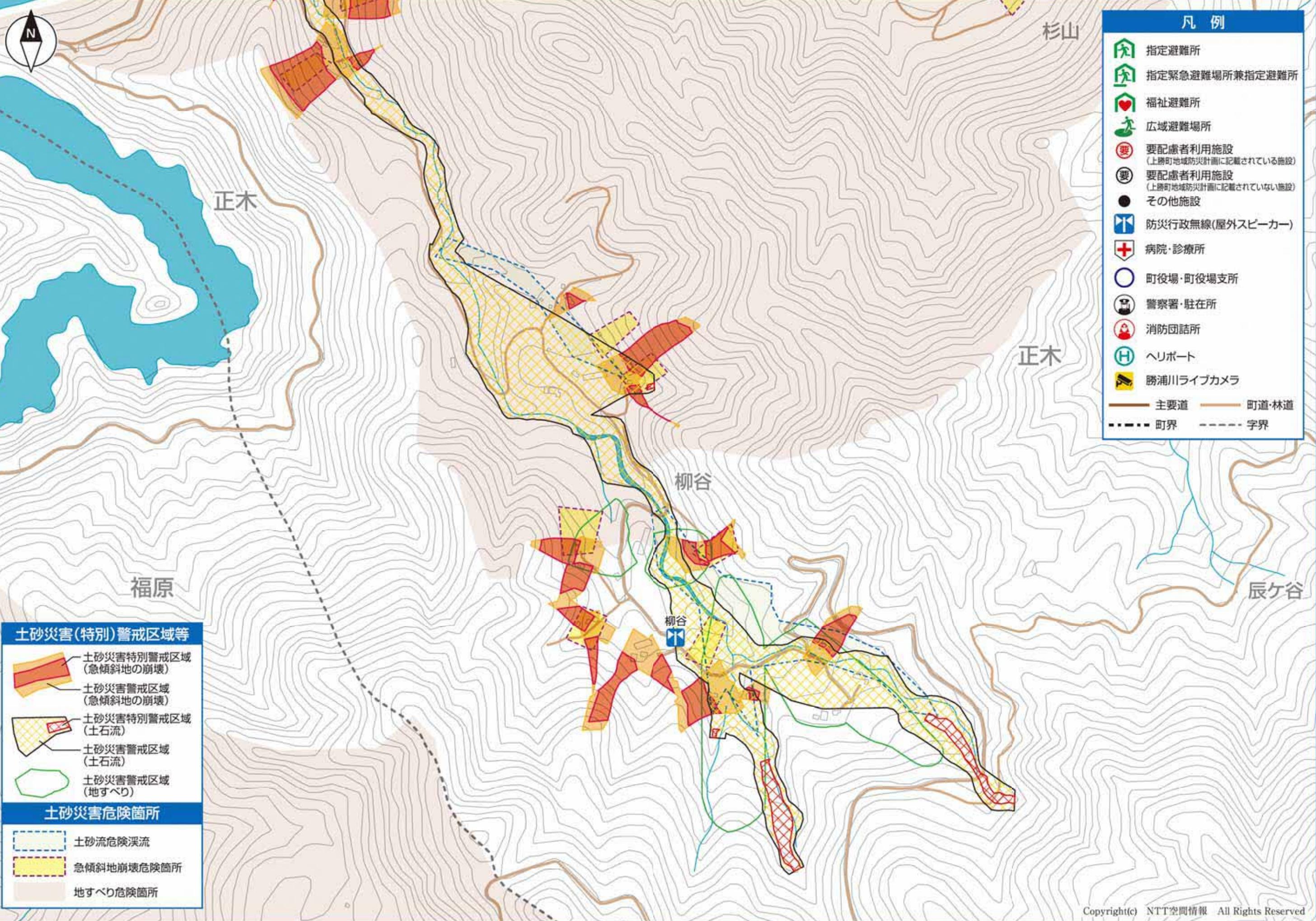
0 100m 200m 300m 400m 500m

地図番号
2



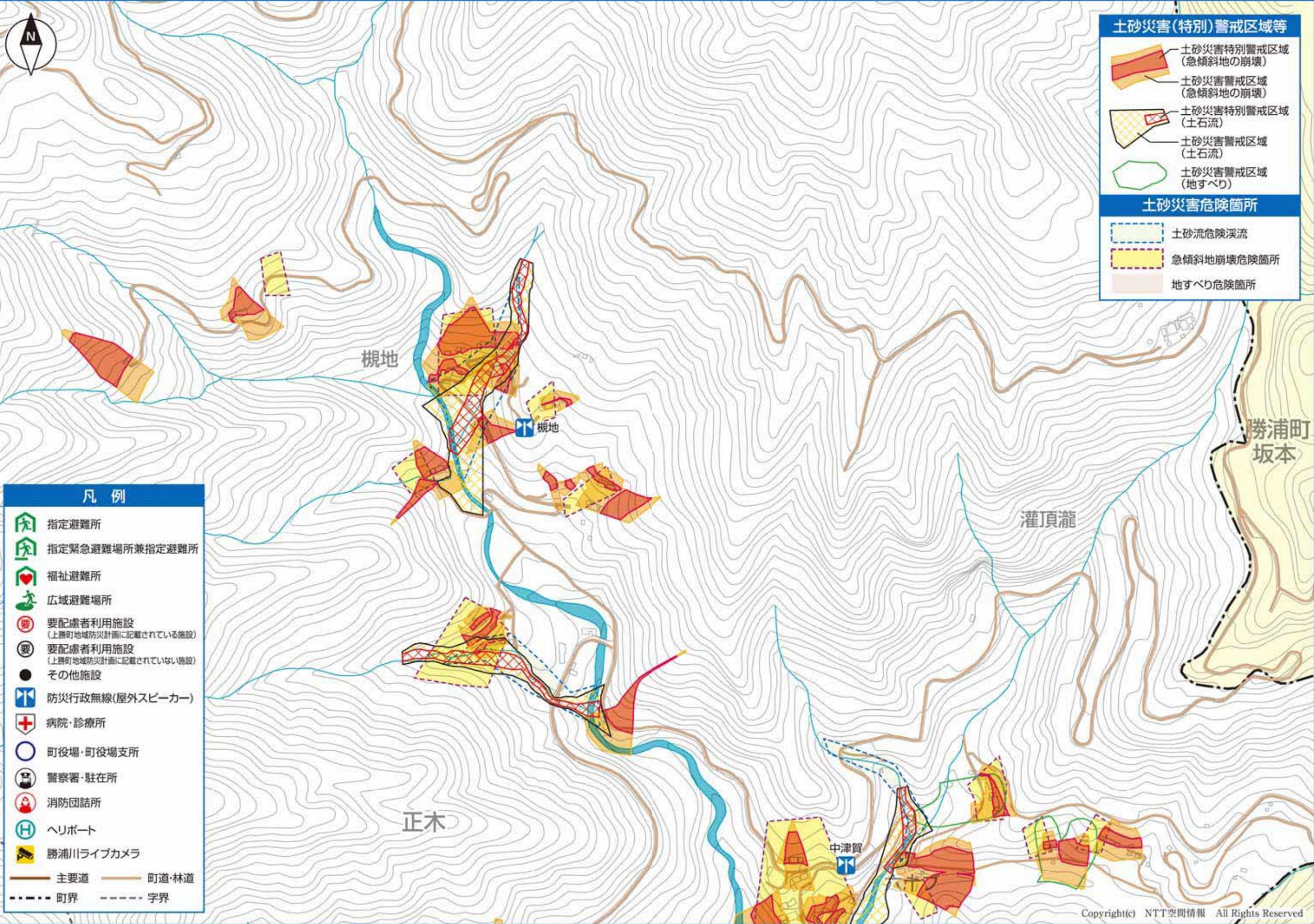
上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m



上勝町 ハザードマップ

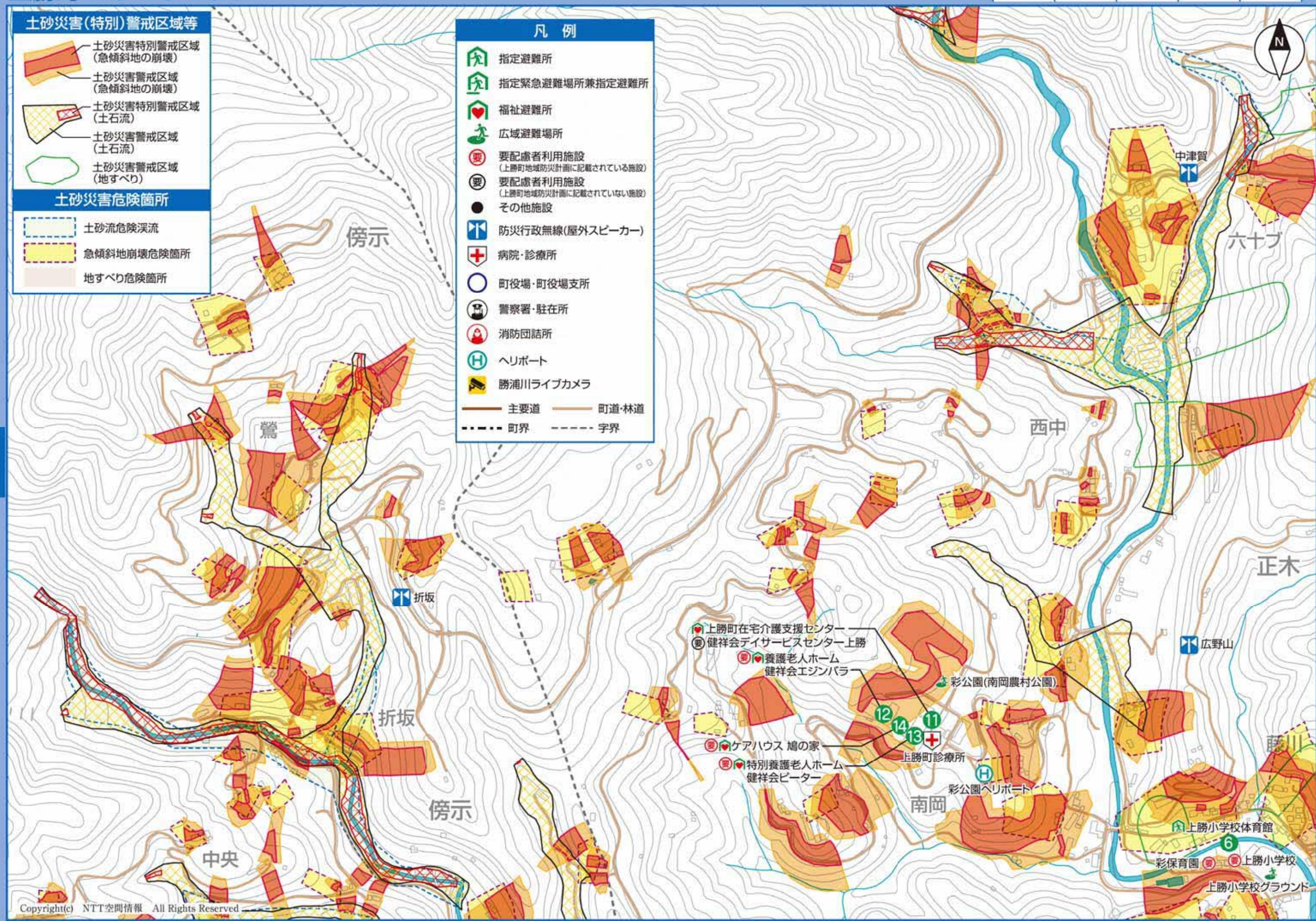
0 100m 200m 300m 400m 500m



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

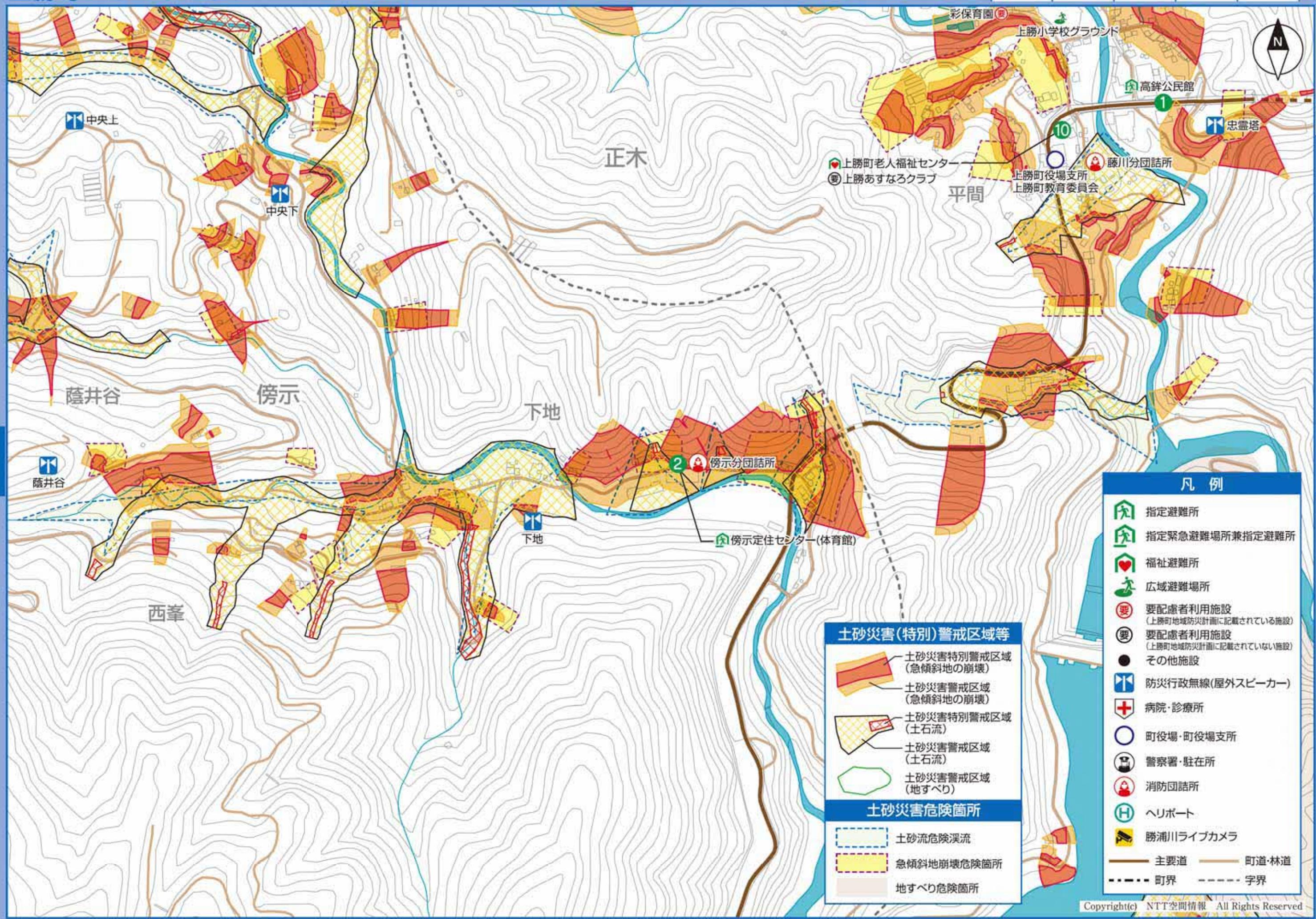
地図番号 5



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

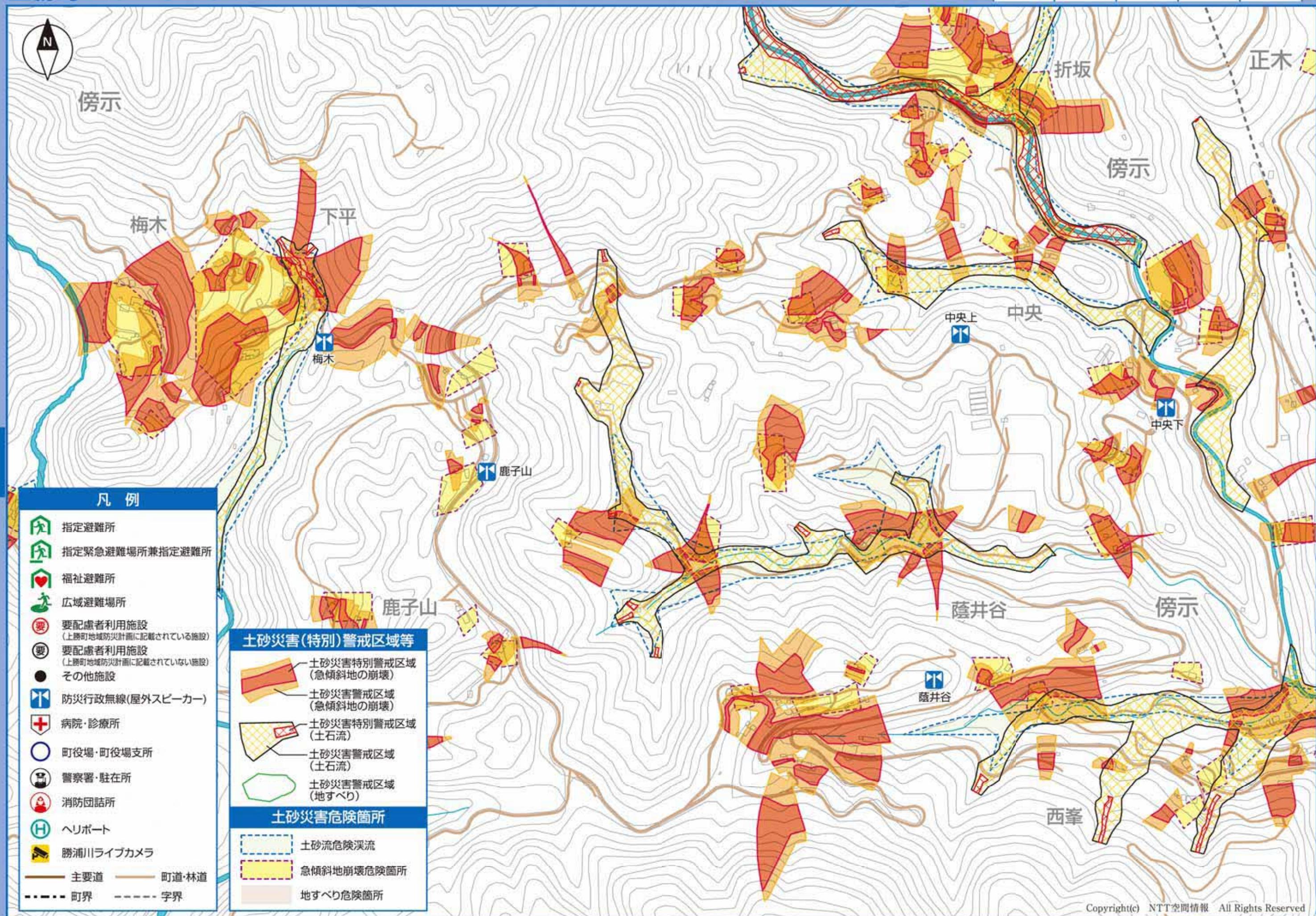
地図番号
6



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

地図番号 7



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m



凡 例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- 福祉避難所
- 広域避難場所
- 要配慮者利用施設
(上勝町地域防災計画に記載されている施設)
- 要配慮者利用施設
(上勝町地域防災計画に記載されていない施設)
- その他施設
- 防災行政無線(屋外スピーカー)
- 病院・診療所
- 町役場・町役場支所
- 警察署・駐在所
- 消防団詰所
- ヘリポート
- 勝浦川ライブカメラ
- 主要道
- 町界
- 町道・林道
- 字界

地図番号 8

土砂災害(特別)警戒区域等

- 土砂災害特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域
(土石流)
- 土砂災害警戒区域
(土石流)
- 土砂災害警戒区域
(地すべり)

土砂災害危険箇所

- 土砂流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所

傍示

傍示

生実

梅木

下平

梅木

鹿子山

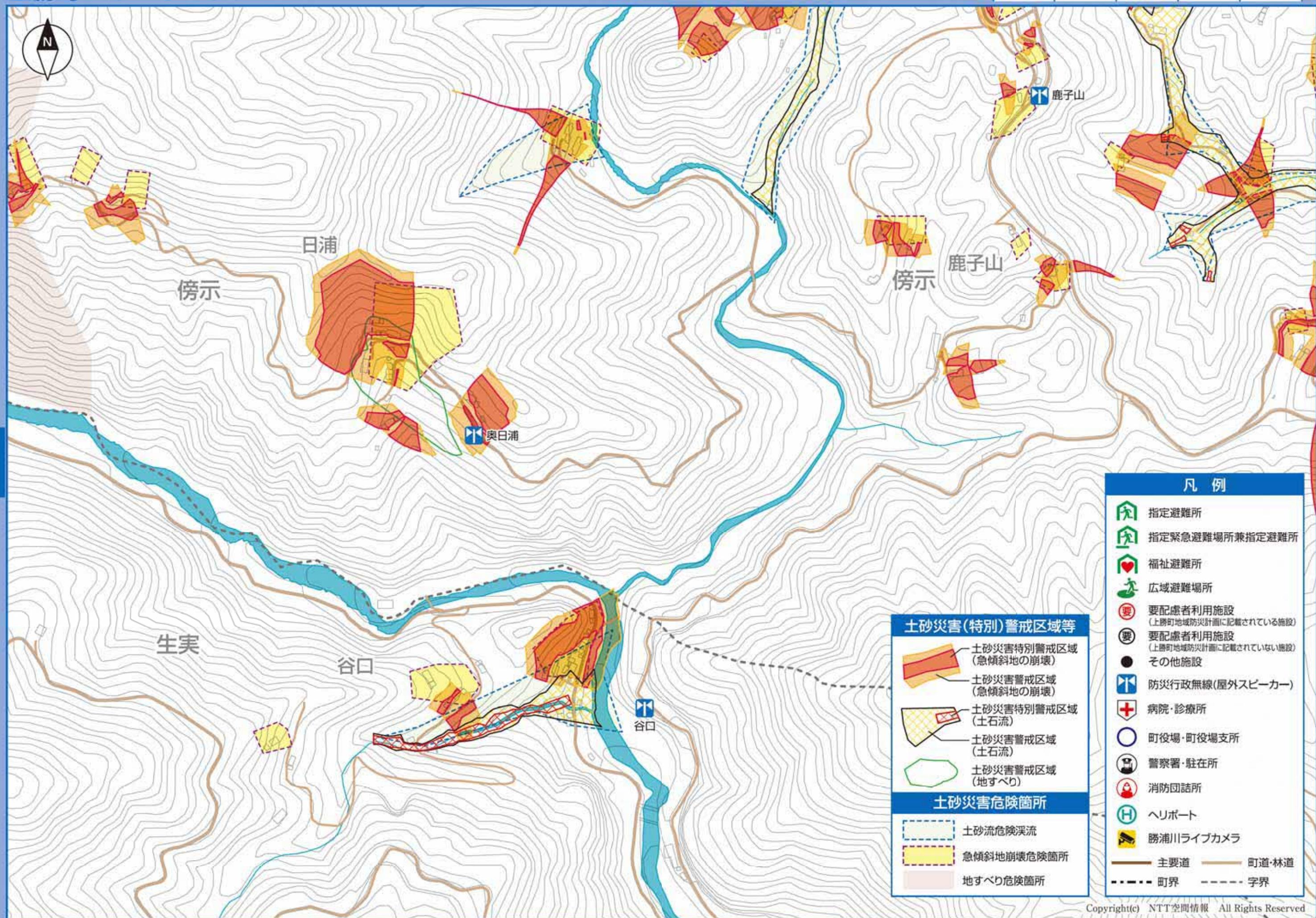
Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m



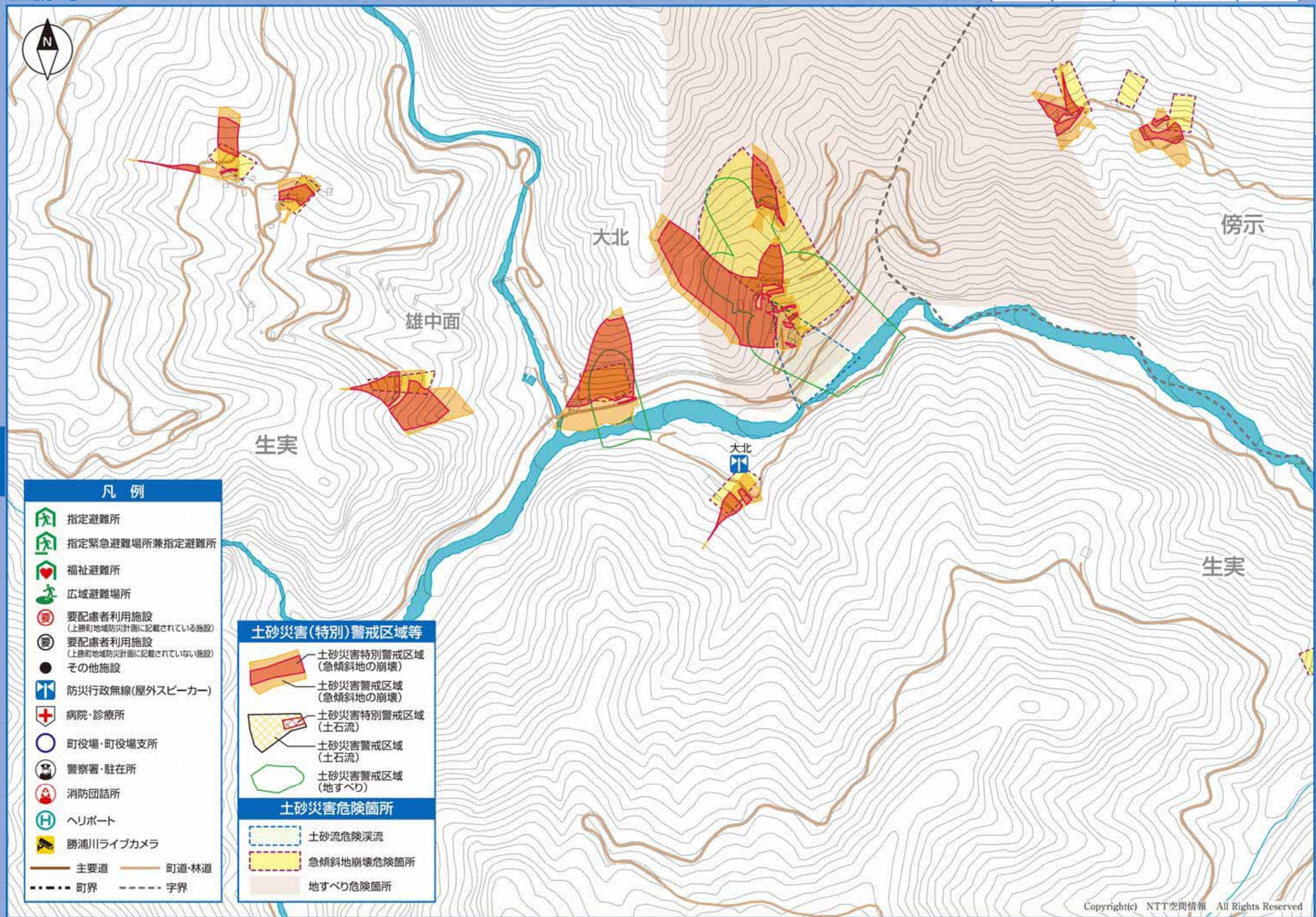
地図番号
9



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

地図番号
10



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

凡 例

-  指定避難所
 -  指定緊急避難場所兼指定避難所
 -  福祉避難所
 -  広域避難場所
 -  要配慮者利用施設
(上勝町地域防災計画に記載されている施設)
 -  要配慮者利用施設
(上勝町地域防災計画に記載されていない施設)
 -  その他施設
 -  防災行政無線(屋外スピーカー)
 -  病院・診療所
 -  町役場・町役場支所
 -  警察署・駐在所
 -  消防団詰所
 -  ヘリポート
 -  勝浦川ライブカメラ
 -  主要道
 -  町道・林道
 -  町界
 -  字界

二



地図番号

11

生実

生实

戸越

中瀬津

角屋

福原

土砂災害(特別)警戒区域等

-

上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

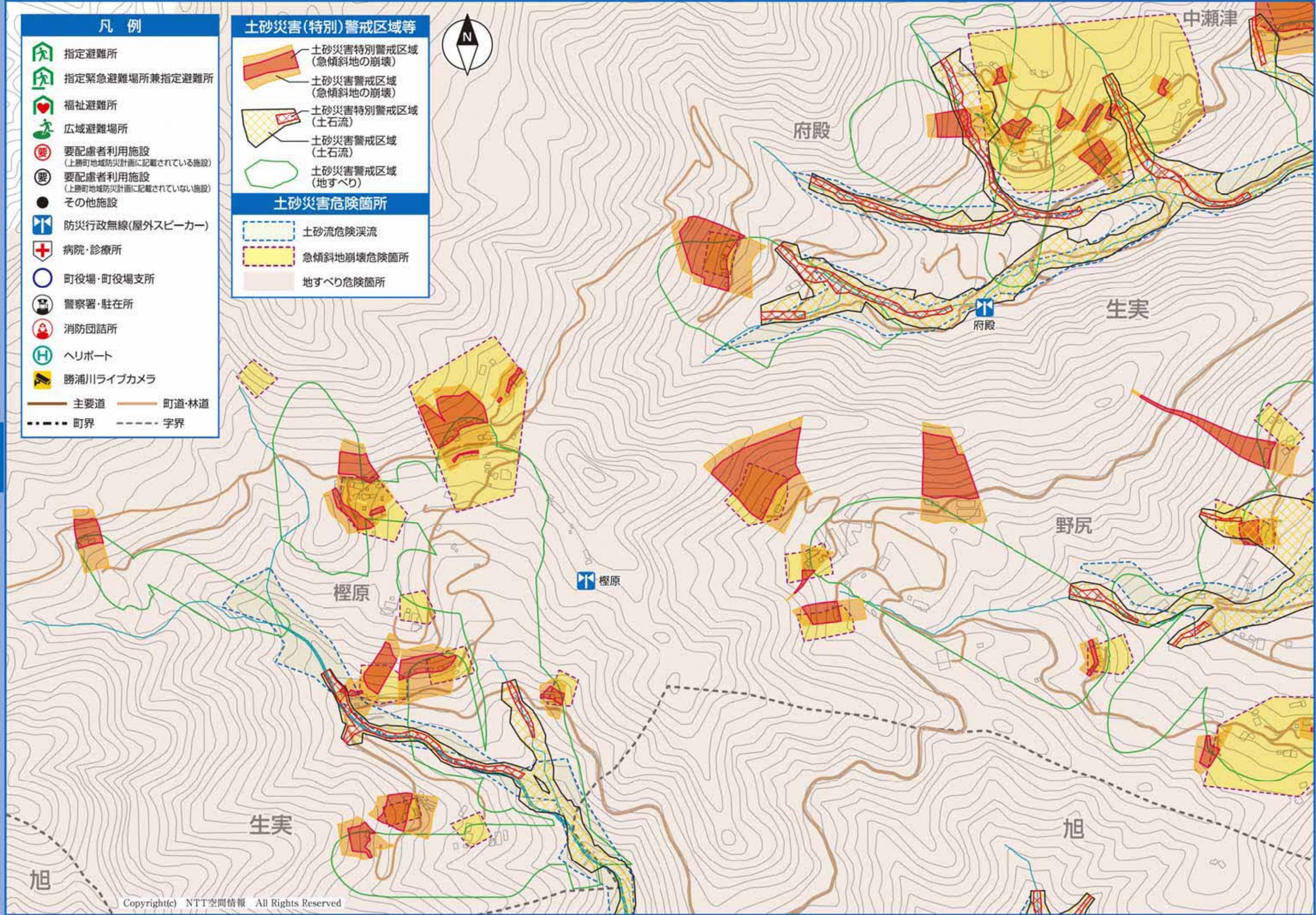
地図番号
12

凡 例	
	指定避難所
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	福祉避難所
	広域避難場所
	要配慮者利用施設 (上勝町地域防災計画に記載されている施設)
	要配慮者利用施設 (上勝町地域防災計画に記載されていない施設)
●	その他施設
	防災行政無線(屋外スピーカー)
	病院・診療所
	町役場・町役場支所
	警察署・駐在所
	消防団詰所
	ヘリポート
	勝浦川ライブカメラ
— 主要道	— 町道・林道
--- 町界	- - - 字界

土砂災害(特別)警戒区域等	
	土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	土砂災害特別警戒区域 (土石流)
	土砂災害警戒区域 (土石流)
	土砂災害警戒区域 (地すべり)

土砂災害危険箇所	
	土砂流危険渓流
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

ハザードマップ



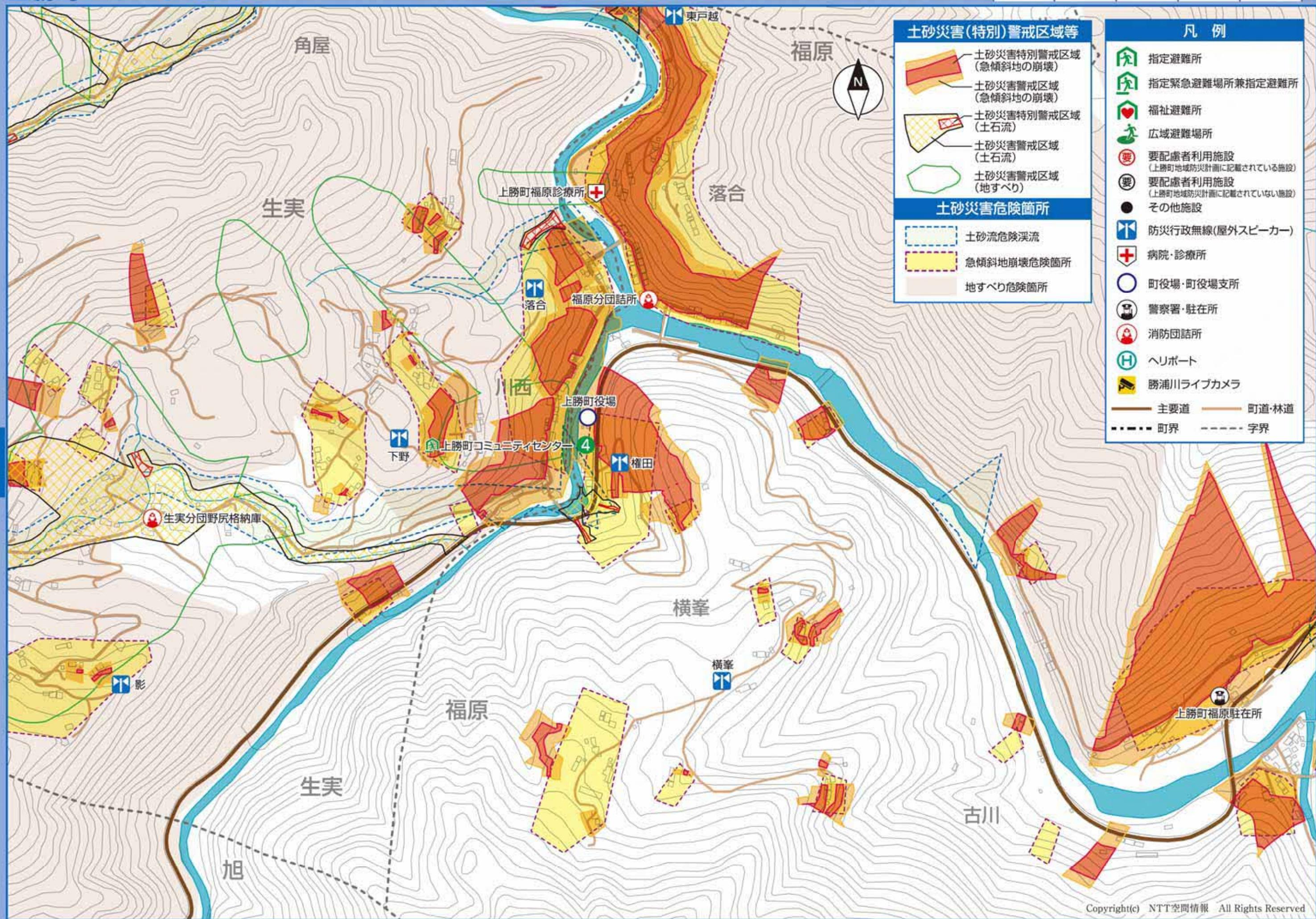
Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

ハザードマップ

上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

地図番号
13

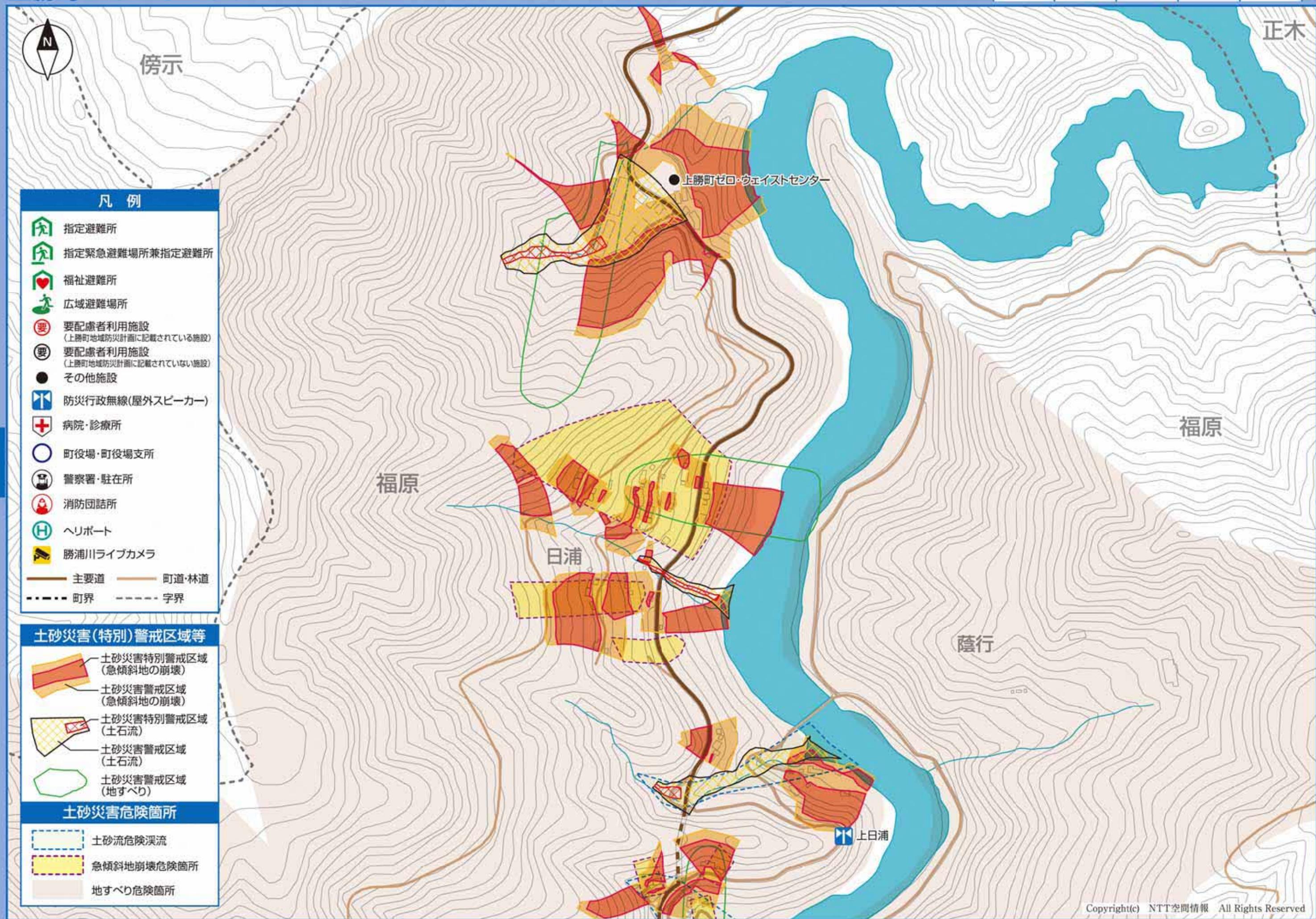


Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

上勝町 ハザードマップ

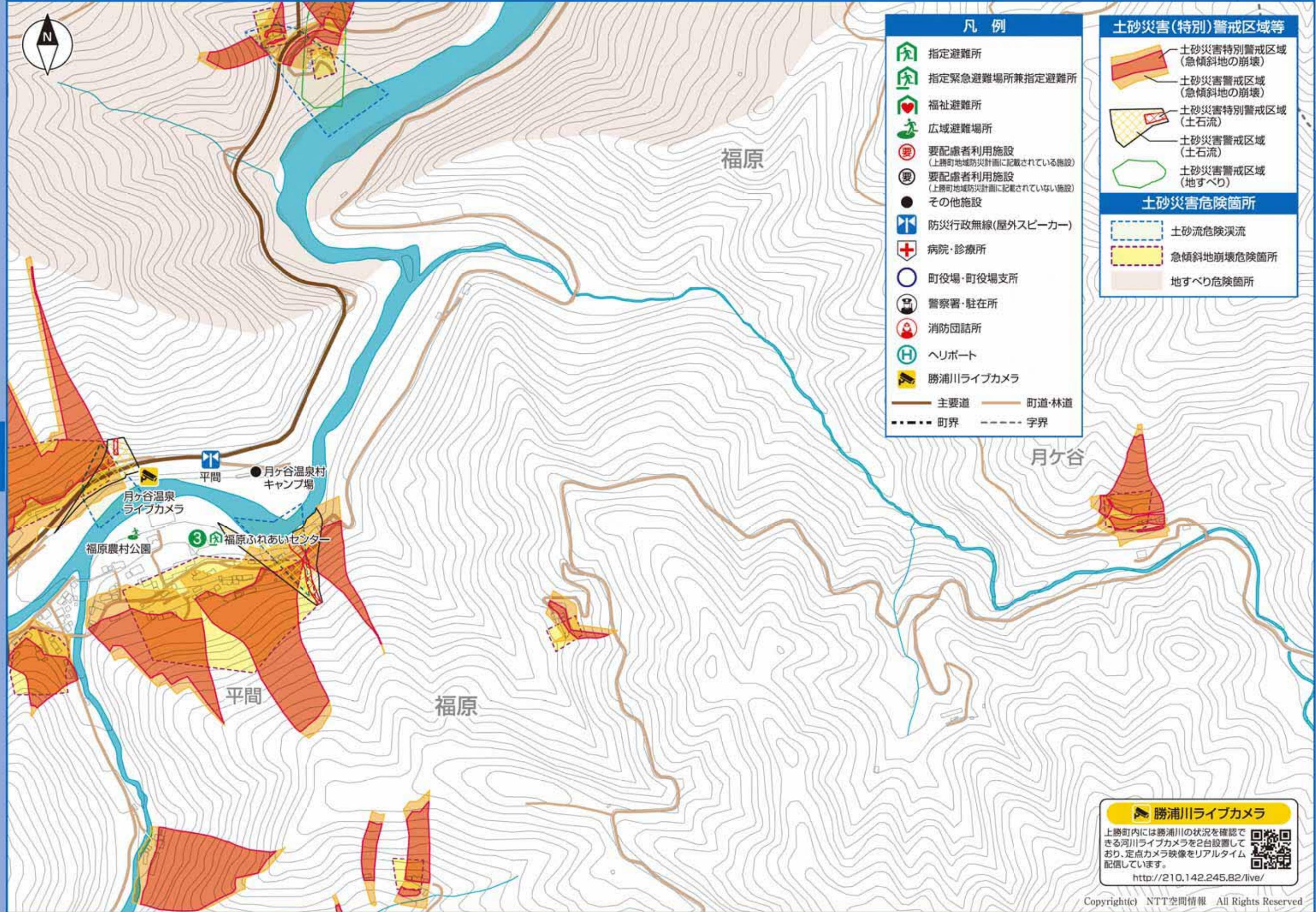
0 100m 200m 300m 400m 500m

地図番号
14



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

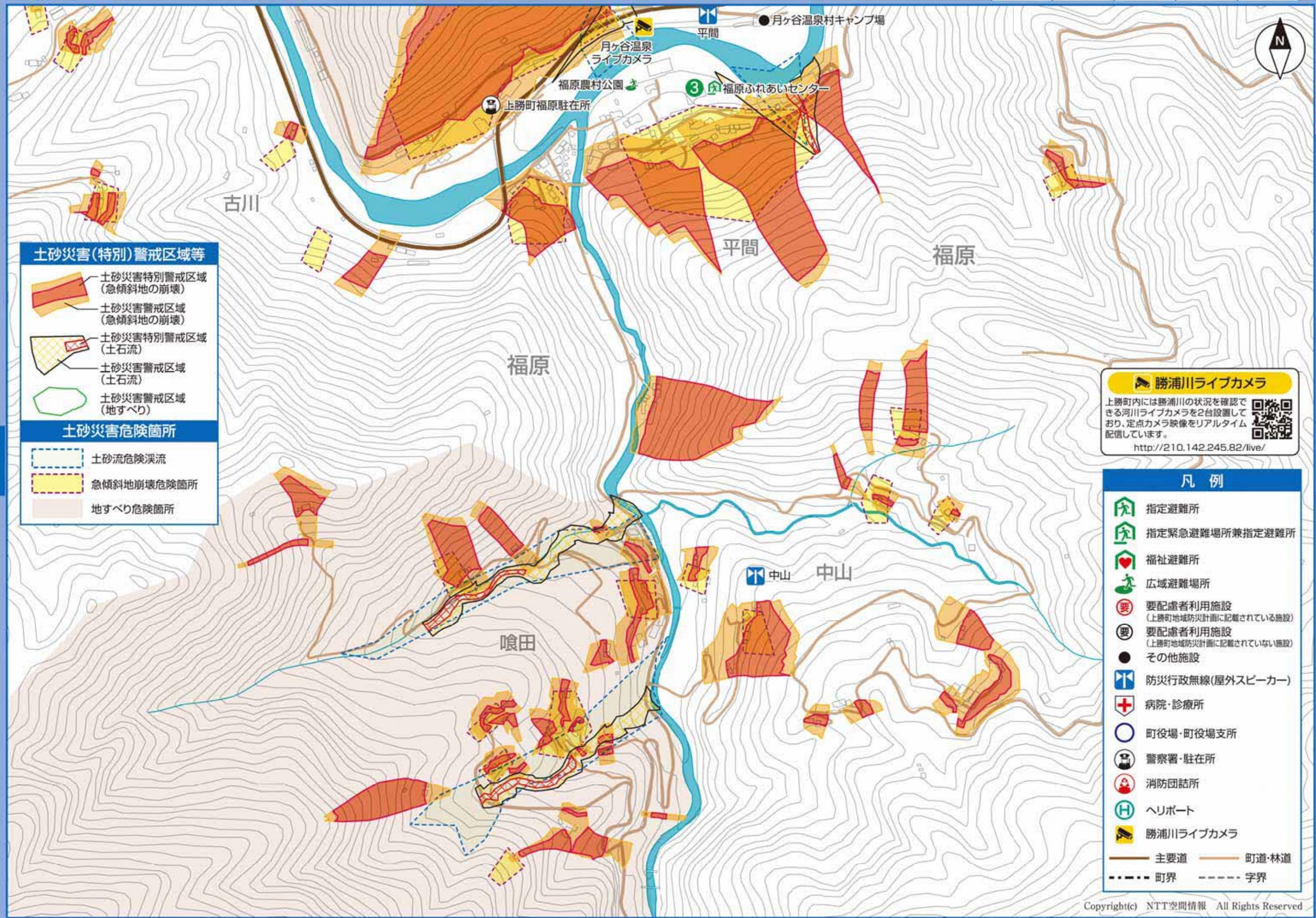


地図番号
15

上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

地図番号
16



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m



地図番号
17

凡 例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- 福祉避難所
- 広域避難場所
- 要配慮者利用施設
(上勝町地域防災計画に記載されている施設)
- 要配慮者利用施設
(上勝町地域防災計画に記載されていない施設)
- その他施設
- 防災行政無線(屋外スピーカー)
- 病院・診療所
- 町役場・町役場支所
- 警察署・駐在所
- 消防団詰所
- ヘリポート
- 勝浦川ライブカメラ
- 主要道
- 町界
- 町道・林道
- 字界

土砂災害(特別)警戒区域等

- 土砂災害特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域
(土石流)
- 土砂災害警戒区域
(土石流)
- 土砂災害警戒区域
(地すべり)
- 土砂流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所

福原

福原

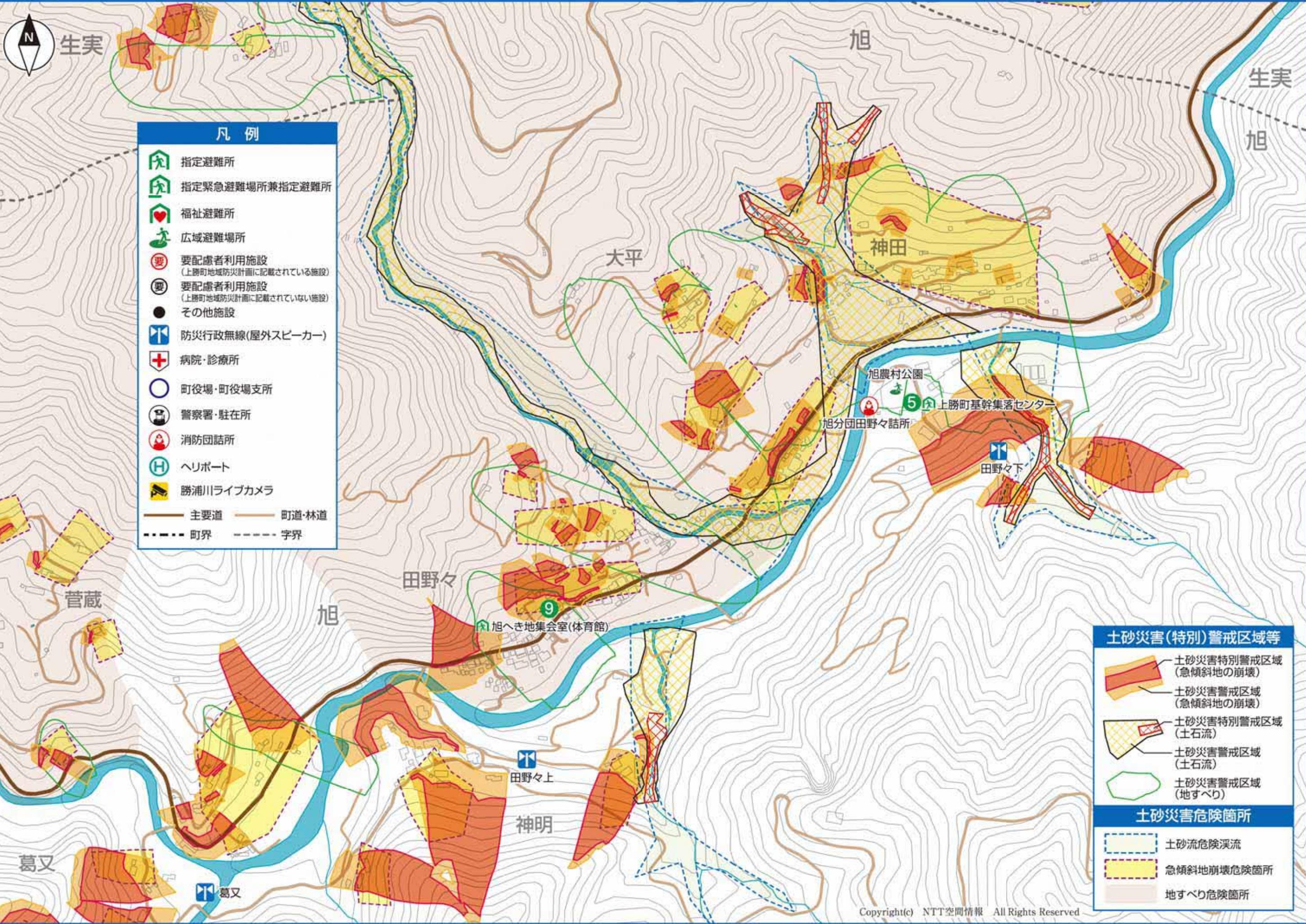
杉地

那賀町

Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

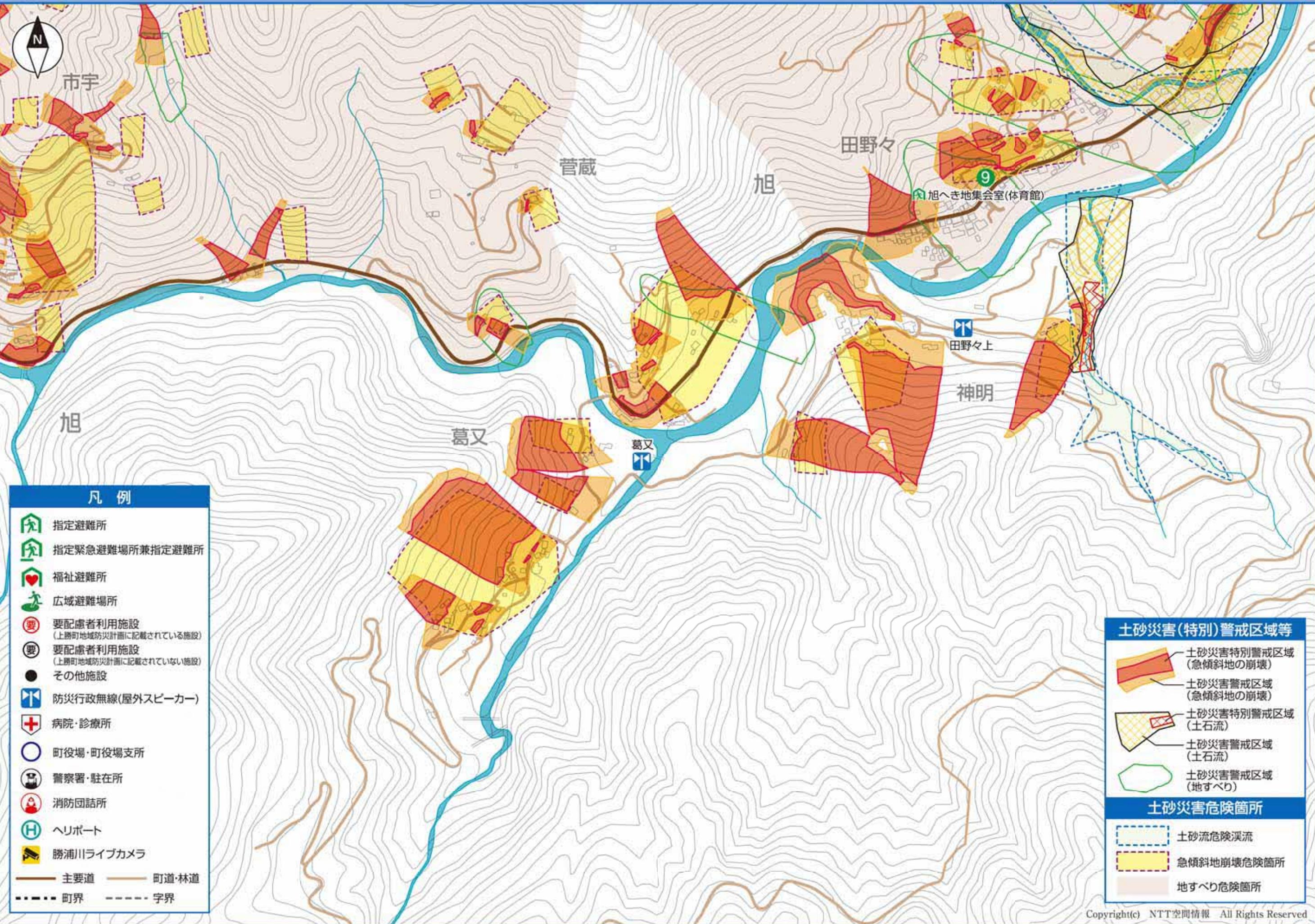
上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m



上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m

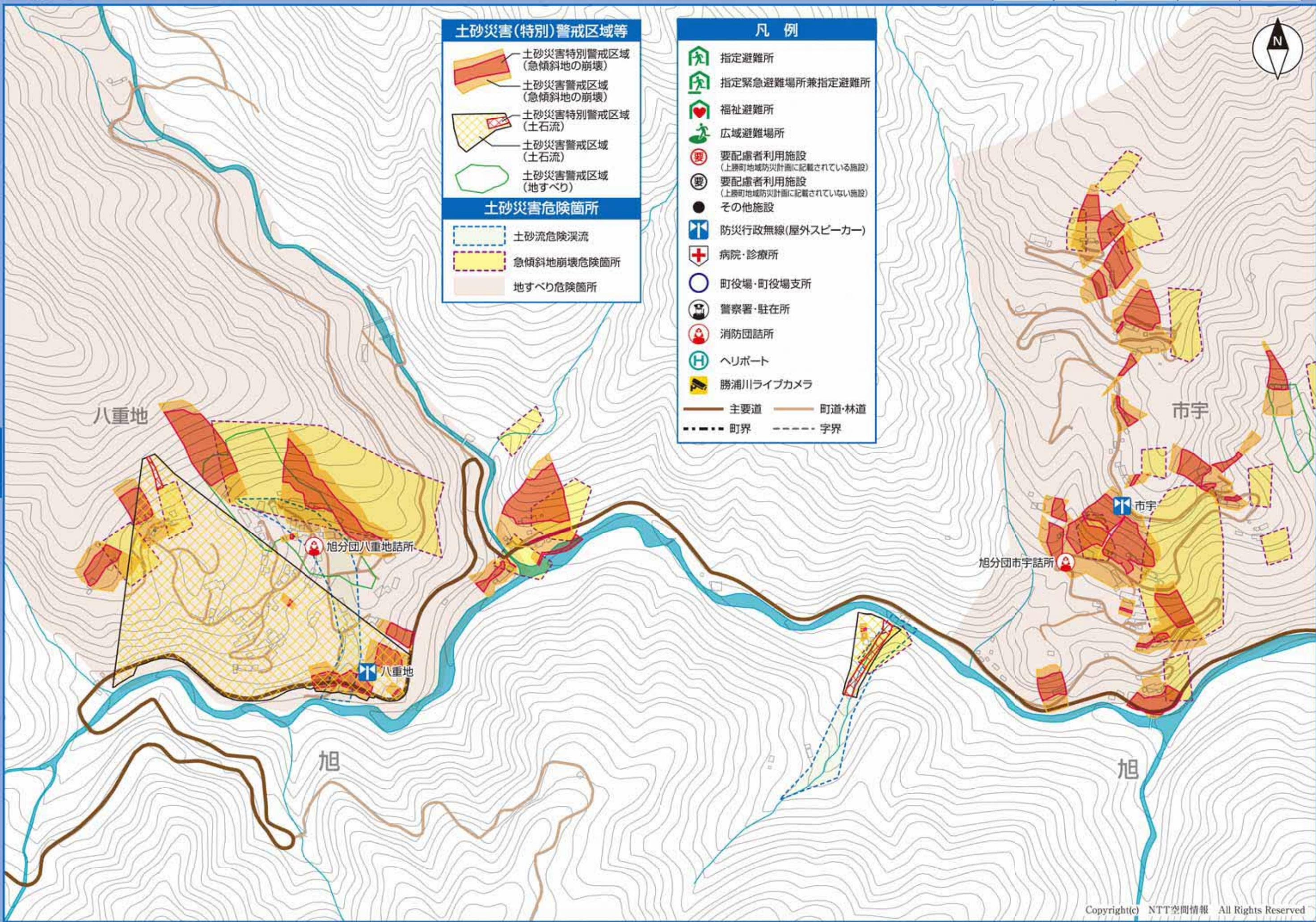


上勝町 ハザードマップ

0 100m 200m 300m 400m 500m



地図番号
20



上勝町(正木ダム下流)浸水想定図

スマホ・パソコンで情報収集 ■徳島県HP(県管理ダム下流の浸水想定図の公表について)
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kendozukuri/kasen/5035254/>

これらの浸水想定図は、徳島県が独自で1000年に一度の記録的大雨が発生した場合における県管理ダム下流域の浸水想定を示したものであり、水防法第14条に基づく洪水浸水想定ではありません。

● 浸水想定最大規模

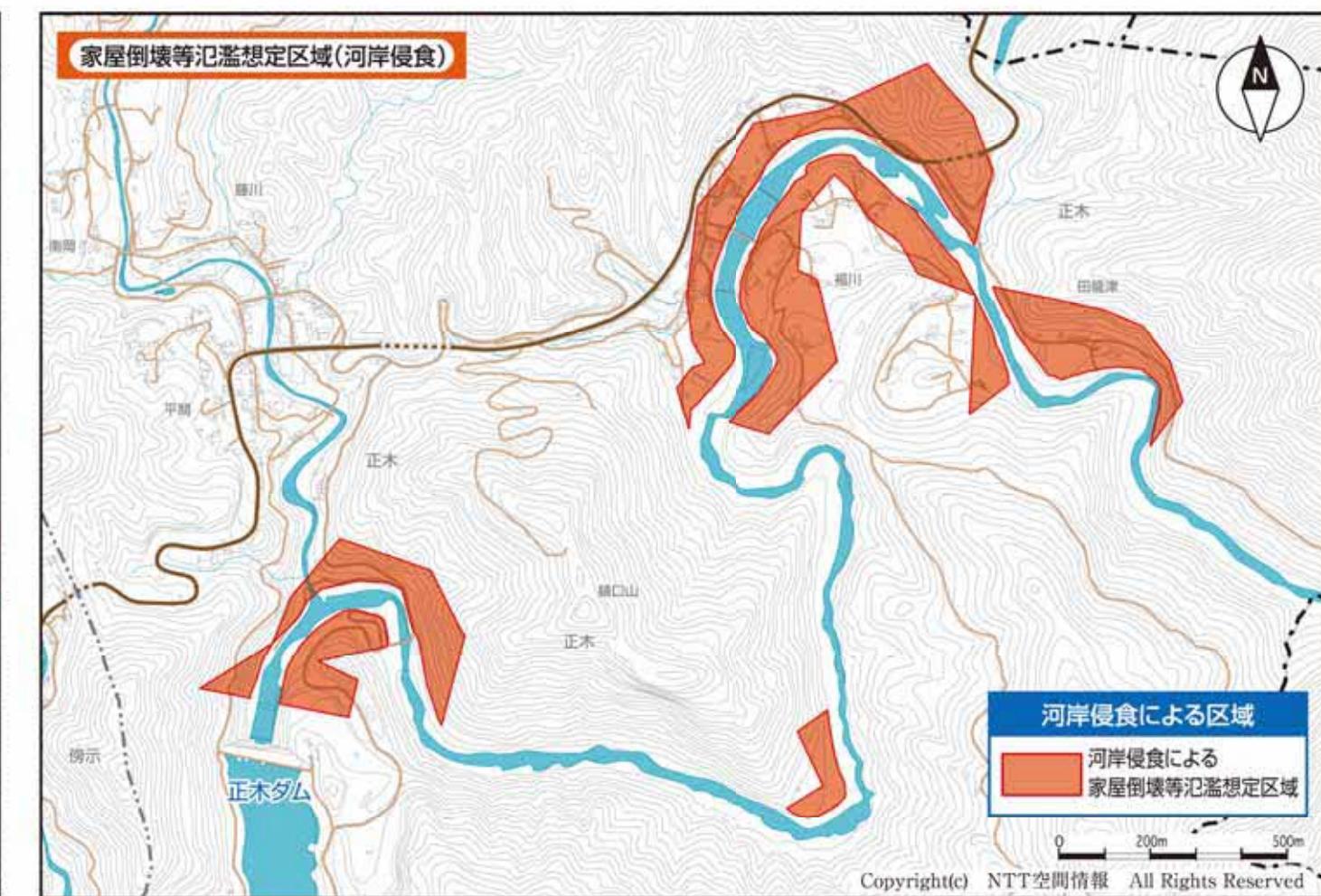
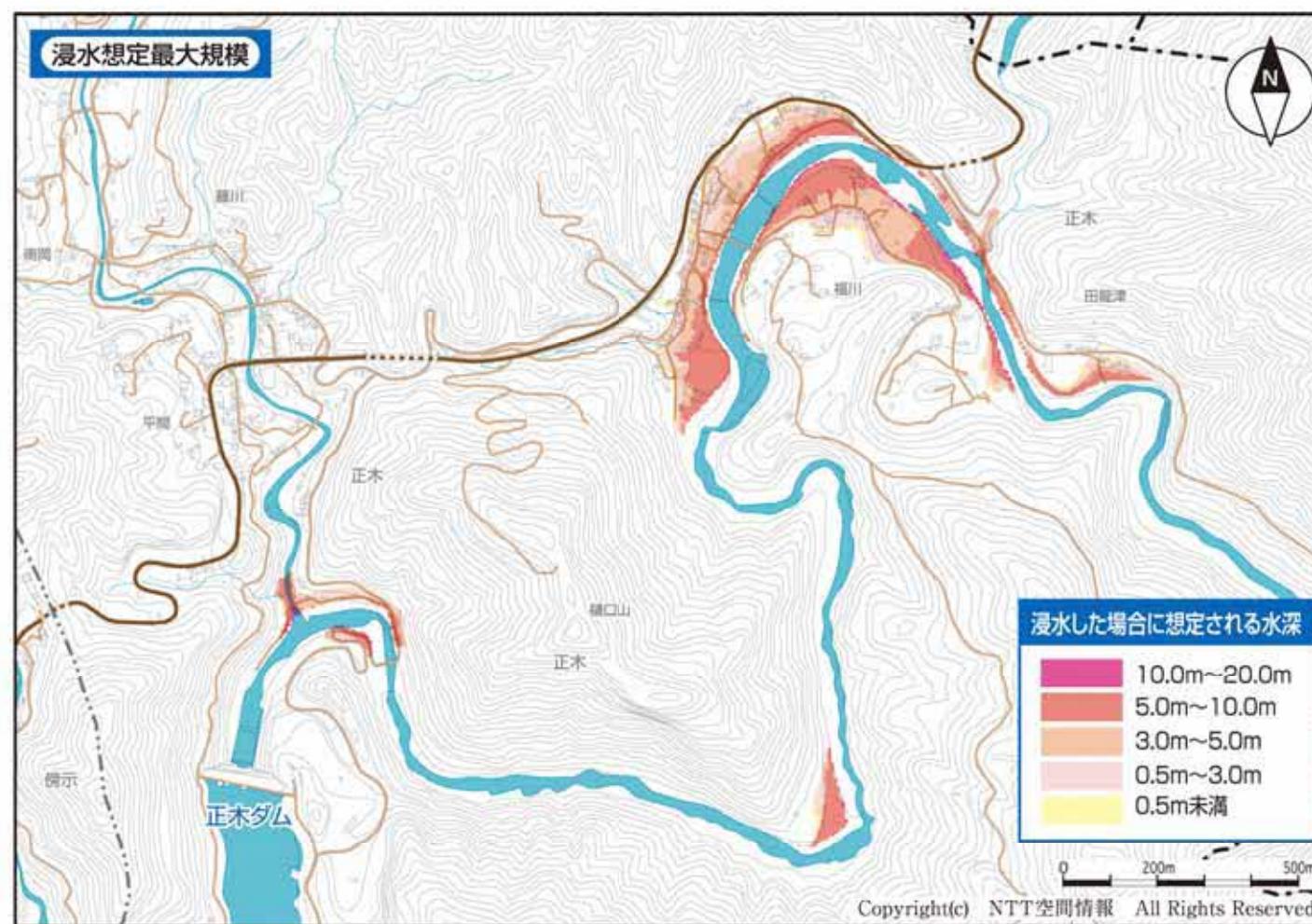
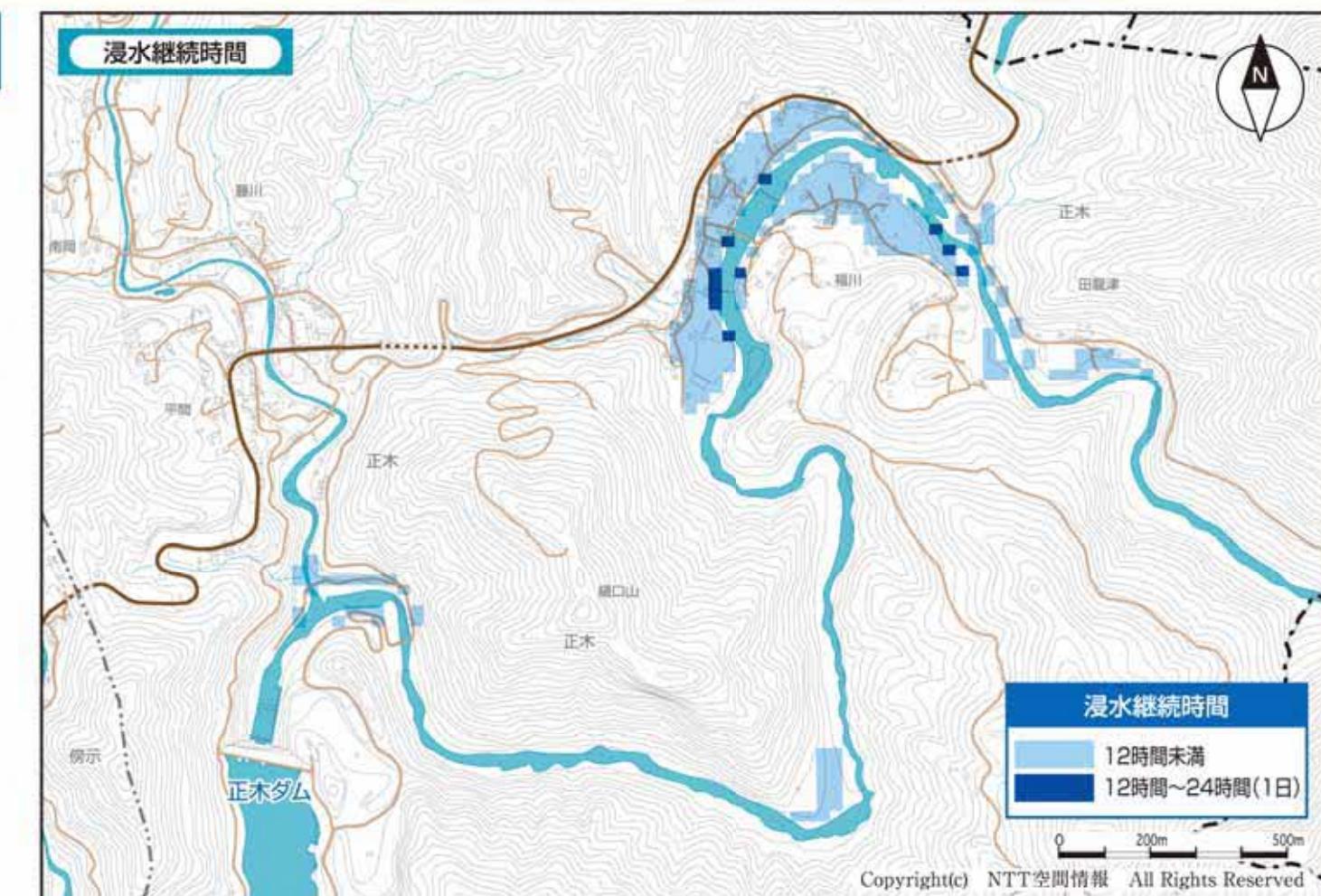
- ・勝浦川水系勝浦川について、想定最大規模降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- ・浸水想定図は、公表時点の勝浦川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により勝浦川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ・シミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

● 浸水継続時間

- ・勝浦川水系勝浦川について浸水継続時間を表示した図面です。
- ・浸水継続時間は、公表時点の勝浦川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により勝浦川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ・シミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

● 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

- ・勝浦川水系勝浦川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域は、勝浦川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。



災害時の連絡方法

大きな災害が発生すると、電話回線が混みあってしまい、電話の使用が困難になります。「災害用伝言ダイヤル」を利用して安否確認をしましょう。

災害用伝言ダイヤル(171) 覚える ! 詳しくは、<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

●NTT「災害用伝言ダイヤル(171)」の使い方

171

にダイヤルし、音声ガイダンスにしたがう

録音の場合

再生の場合

- 被災地の方はご自宅の電話番号を市外局番からダイヤル
- 被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

伝言を入れる
(30秒以内)

伝言を聞く

*伝言保存期間は提供終了まで。伝言蓄積数や保存期間等は、災害の状況により異なります。

ご利用できる電話

加入電話、ISDN※、公衆電話、ひかり電話※、災害時特設公衆電話からご利用できます。携帯電話等の他社電話サービスからもご利用いただけますが、詳しくは各通信事業者へお問い合わせください。

*ISDN及びひかり電話をご利用でダイヤル式電話機をお使いの場合はご利用になれません。

登録できる電話番号

災害により電話がかかりにくくなっている地域の加入電話・ISDN・ひかり電話番号及び携帯電話等の電話番号。登録可能な設定範囲は、市外局番を単位として行います。

ご利用料金

伝言録音・再生を行うためのセンター利用料は無料です。通話料は、NTT東日本・NTT西日本の電話サービスから伝言の録音・再生をする場合無料です。他通信事業者の電話、携帯電話やPHSから発信する場合の通話料については各通信事業者にお問い合わせください。

171



災害用伝言板(web171) 覚える ! 詳しくは、<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

●NTT「災害用伝言板(web171)」の使い方

<https://www.web171.jp>

にアクセスし、画面の指示にしたがう

登録の場合

確認の場合

- 被災地の方はご自宅の電話番号を市外局番から入力
- 被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番から入力

伝言を入力
(伝言1件100文字)

伝言を確認

*伝言保存期間は最大6ヶ月です。保存期間を経過した時点および運用終了時には、全ての伝言は削除します。
*最大伝言登録数を超える場合は、古いものから削除されます。

ご利用できる環境

インターネット接続ができるパソコン、携帯電話、スマートフォン等をご利用できます。※一部の機種ではご利用になれません。

登録できる電話番号

加入電話・ISDN・ひかり電話番号及び携帯電話等の電話番号。

ご利用料金

安否情報の登録、閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料及び、ダイヤルアップ接続の場合は通信料等が別途必要となります。



体験利用のご案内(災害用伝言ダイヤル(171)及び災害用伝言板(web171))

災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、次とおり体験利用提供日が設けられていますので、ぜひ体験してみてください。

- 毎月1日、15日 00:00~24:00
- 正月三が日 (1月1日00:00~1月3日24:00)
- 防災週間 (8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間 (1月15日9:00~1月21日17:00)

体験利用 提供日

- 伝言蓄積数
20伝言
- 伝言保存期間
体験利用期間終了まで

防災アプリの活用 覚える !

いつ起きるか分からない災害や気象の変化に備え、スマートフォンの防災アプリを活用しよう。



遠方に暮らす親や学校へ通う子ども、遠方の親戚の災害状況も把握することができます。

気象庁では、土砂災害や洪水、浸水といった大雨災害の危険度の高まりを詳細に把握し、避難等の判断に役立てていただくため、「危険度分布」を常時10分毎に提供しています。一方、平成30年7月豪雨の際、「危険度分布」の危険度が高まても、すぐに気付くことができないといった課題が「防災気象情報の伝え方に関する検討会」において指摘されました。

これに対応するため、「危険度分布」等が示す危険度の変化を伝えるプッシュ型の通知サービスが気象庁の選んだ次の5事業者により提供されることになりました。大雨時に速やかに避難が必要とされる警戒レベル4に相当する「危険度分布」の「非常に危険」など、大雨災害の危険度の高まりがメールやスマホアプリで通知されますので、ぜひご活用ください。

*「危険度分布」の通知サービスに関しては、全事業者において無料で利用できます。

危険度分布通知サービス	YAHOO! JAPAN	特務機関NERV防災	お天気JAPAN	お天気ナビゲータWEB	PREP
事業者名	ヤフー(株)	ゲヒルン(株)	(株)島津ビジネスシステムズ	日本気象(株)	RCソリューション(株)
サービス名	Yahoo! 防災速報	特務機関NERV防災	お天気JAPAN	お天気ナビゲータWEB	PREP
提供方法	アプリ	アプリ	アプリ	メール配信	アプリ
iOS	○	○	○	—	○
Android	○	○	×	—	△近日提供予定
備考	無料	無料	無料(一部有料)	無料	無料(一部有料)

*詳しいサービス内容については、各事業者のホームページ等でご確認ください。

逃げなきゃコール 覚える !

ここ
ポイント

「逃げなきゃコール」とは、離れた場所に暮らす高齢者等の家族に危険が差し迫った場合、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかける国土交通省の取り組みです。

次の3事業者の協力を得て、スマートフォンアプリやSMS(ショートメッセージサービス)の地域登録機能を活用し、プッシュ型で家族の住む場所の河川情報等が入手できます。

- NHK(ニュース・防災アプリ)
- ヤフー(株)(Yahoo! 防災速報アプリ)
- KDDI(株)<au>(登録エリア災害・避難情報メール)



「逃げなきゃコール」国土交通省情報サイト

<https://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html>



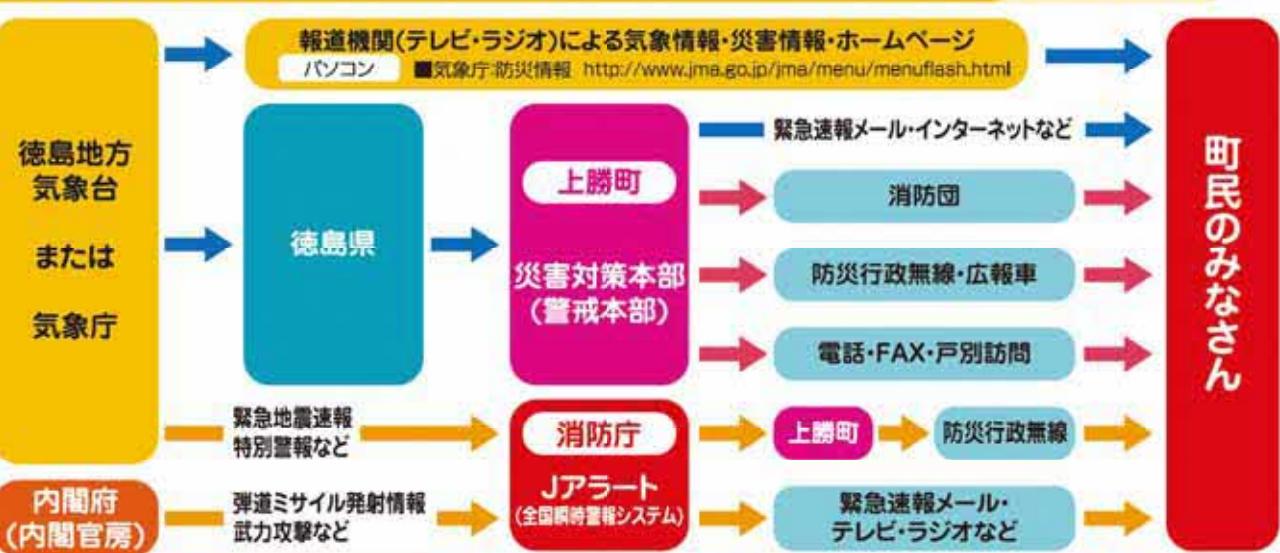
防災情報

町が発令する避難情報には、以下のものがあります。
発令された避難情報はテレビやラジオ、携帯電話への緊急速報
メールなどを通してみなさんにお伝えします。

情報の伝達経路

→ 気象情報・災害予報の流れ → 避難勧告・避難指示の流れ → 国民保護に関する情報の流れ

知る !



防災情報・気象情報等の入手 覚える !

テレビ・ラジオ

- テレビ・テレビdボタン NHK(3ch) 四国放送(1ch)
- AMラジオ NHK第1(945kHz) 四国放送(1269kHz)
- FMラジオ NHKFM(82.4MHz) FM徳島(80.7MHz)

防災行政無線

- Jアラート
- 上勝町では緊急地震速報、特別警報(大雨)、弾道ミサイルに関する情報など国が発信する情報を受信し、防災行政無線を自動起動させ、みなさんに緊急放送としてお知らせするJアラート(全国瞬時警報システム)を運用しています。

インターネット

- 上勝町ホームページ <http://www.kamikatsu.jp/>
- 勝浦川ライブカメラ映像(月ヶ谷温泉前、正木ダム放流状況) <http://210.142.245.82/live/>
- 徳島県ホームページ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/>
- 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 徳島県防災・減災マップ <https://maps.pref.tokushima.lg.jp/bousai/>
- 徳島県土砂災害情報システム <https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/Top.aspx>
- 徳島県河川防災情報 <https://www.kasen.pref.tokushima.lg.jp/>
- 徳島県土防災情報(通行規制マップ) <https://bousai.pref.tokushima.lg.jp/map/>
- NTT西日本(工事・故障情報) <http://www.info-construction.ntt-west.co.jp/info-report/ku010/ku010010/>
- NTT西日本(工事・故障情報) 地図表示版 <https://u-see-map.ntt-west.co.jp/>

四国電力送配電株式会社 四国電力は、2020年4月より送配電事業を分社化し、次の内容は四国電力送配電が対応します

停電・電柱・電線に関する連絡・問い合わせ窓口(ネットワークコールセンター)

四国電力送配電 徳島支社 ☎ 0120-410-105 TEL : 088-656-4601

- 停電情報(徳島県内) <https://www.yonden.co.jp/nw/teiden-info/tokushima.html>
- LINEによる停電情報 [<設定したエリア\(最大4箇所\)の停電情報を自動でお知らせ>](https://www.yonden.co.jp/nw/cnt_line-notice/index.html)



LINEで停電情報をお知らせします



四国電力送配電
LINE公式アカウントの
友だちになる



「すだちくんメール」で警報等の情報を入手

配信内容

ご希望の情報を必ず選択してください。

- 大雨・洪水などの気象警報の発表と解除。注)登録いただいた市町村に関する情報が配信されます。
- 土砂災害警戒情報の発表と解除。注)登録いただいた市町村に関する情報が配信されます。
- 県内において震度4以上の地震が観測された際の、地震速報及び震源震度に関する情報。
- 徳島県に発表された津波注意報・警報の発表と解除。

すだちくんメール<徳島県災害時の安否確認サービス> <https://s.ourtokushima.jp>



防災行政無線 戸別受信機 知る !

戸別受信機とは

上勝町では、災害時等における避難情報、火災発生、定時のメロディのほか、一般行政広報に関する情報を防災行政無線により放送しています。また、Jアラート(全国瞬時警報システム)の運用により、緊急地震速報や気象特別警報、弾道ミサイルの発射情報などが発表された場合に知らせる放送を実施しています。これらの放送を宅内で受信することができる戸別受信機を無償で貸与しています。



乾電池ランプについて
AC電源ランプ(緑)がついていれば、通常時 \times コンセントから電源供給時は点灯しません。
●赤色点灯 → 電池で動作中
●赤色点滅 → 電池切れ 乾電池(単2×4本)の交換が必要です。
放っておくと液漏れ等による故障の原因となります。
点滅のサインが出たら必ず電池を交換してください。

※故障した場合は、役場総務課までご持参ください。
詳しい内容については、上勝町ホームページの「戸別受信機の取り扱いについて」をご覧ください。
<http://www.kamikatsu.jp/docs/2011012400465/>

お問い合わせ窓口 上勝町役場 総務課 TEL : 0885-46-0111

ダムにおける異常洪水時防災操作(緊急放流)(ただし書き操作) 覚える !

異常洪水時防災操作(緊急放流)とは

「異常洪水時防災操作」は、洪水調節を行うダムにおいて、想定された計画洪水量を超える洪水が発生し、このままではダム水位がサーチャージ水位(洪水時にダムが洪水調節をして貯留する際の最高水位)を超えると予想されるときに行われるダム操作です。かつては、「ただし書き操作」とも呼ばれていましたが、「異常洪水時防災操作」に変更されました。

テレビやラジオなどのマスコミによる報道では、「緊急放流」として伝えられるケースが多くありますので、この言葉も覚えておきましょう。

異常洪水時防災操作(緊急放流)の手順

- ダム(県)より、異常洪水時防災操作を開始する1時間前に市町村に連絡が入ります。これをうけ、市町村は住民の皆さんに異常洪水時防災操作の実施に伴い、状況を判断したうえで必要に応じて避難情報等を発令します。
- 異常洪水時防災操作で実施される放流水量は決まっておらず、ダム流入水量と同等量の放流を行うこととなります。(流入水量が毎秒1,500tであれば、放流水量も毎秒1,500tとなります) 異常洪水時防災操作が行われるということは、洪水調整機能を持つダムが、洪水調整機能を果たせない状態になったことを意味します。
- ダムの下流域にお住まいの皆さんは、異常洪水時防災操作が行われる状況となった場合には、速やかに安全な場所へ避難してください。

Check!
57-58P
浸水想定図
正木ダム下流



地域防災

災害時において要配慮の方々を守るために、地域で協力し合いながら、支援していきましょう。まずは、声をかけることが大切です。

自助・共助・公助

備える！

自ら取り組む 自助

自助とは、自分自身や家族の命を守るため、日常的に災害に対する備えや、災害時の対応を行い、自分や家族で防災に取り組み、自分（家族）の身は自分（家族）で守ることです。

- 食料、飲料水の備蓄
- トイレットペーパー、常備薬などの日用品の備蓄
- 自宅の耐震化、耐火性の確保
- 家具、テレビ、蛍光灯などの転倒、落下、移動防止
- 災害用簡易トイレの備蓄
- 家族同士で災害時の安否確認の伝達手段の確保
- 避難経路の確認など



地域で、 皆で協力して 取り組む 共助

共助とは、災害時に、まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合うということです。災害時に円滑な助け合いができるように、日常から地域防災の取り組みに参加するなどして近隣住民との交流を図りましょう。

- 近所の助け合い
- 自主防災活動への参加
- 地域の防災訓練
- 高齢者、障がい者の支援など



行政、 公的機関が 取り組む 公助

公助とは、町役場、消防、警察、自衛隊などによる公的な支援のことです。地域防災計画に基づき、事前対策として、食料や飲料水などの生活物資の備蓄や資機材の整備、民間事業者や他の市町村との応援協定などを実施しています。

- | | |
|------------|---------------------|
| ●情報伝達機能の充実 | ●災害対応（人命救助、復旧・復興など） |
| ●避難所機能の充実 | ●防災訓練（関係機関との連携強化） |
| ●自助への支援 | |
| ●共助への支援 | |



やってみよう!! 防災さんぽ～防災さんは、いのちを守る第一歩～ 備える！



ACジャパンの「防災さんぽ」というテレビCMを見たことはありますか？「防災さんぽ」とは…「災害に備えて、お家から避難場所まで」の散歩です。ただ、散歩をするのではなく、地震や豪雨の時に安全に避難できるか、危ないところがないか、確かめながらの散歩です。

- 避難場所まで安全に行けるかな？（自宅や職場、学校からの避難場所と避難ルートの確認）
- 川があふれたりしないかな？（大雨時に河川の氾濫や、土砂崩れが起こらないかハザードマップで確認）
- 揺れたら、危なくないのかな？（地震が起きたらブロック塀が倒れたり、瓦や看板が落ちてきたりしないか確認）
- おばあちゃんと一緒に行くかな？（高齢者や障がい者と一緒に避難できるか確認）

以上のようなことを確認しながら、家族みんなが安全に避難ができるよう避難場所までのルート確認を行う散歩です。

もしもに備えて、家族や友人と一緒に～やってみよう!! 防災さんぽ～



出典：公益社団法人ACジャパン

わが家の備え

大きな災害が発生すると、電気、ガス、水道が止まり、道路が通れなくなる可能性があります。食料をはじめとする物資の支援も遅れるおそれがあるため、日ごろからの備えが必要です。

災害に備える 備える！

災害は、家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざという時に、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合いましょう。また、災害に備えて家中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。そして、危険が迫ったときや、いざ災害が発生した場合は、すぐに避難などの安全確保行動がとれるようにしましょう。

避難3原則

- ①想定にとらわれるな！
…相手は自然、何が起こるか分からない
- ②最善をつくせ！
…その時に考えられる一番安全な場所へ避難
- ③率先避難者たれ！
…危険が迫っていても人は「自分は大丈夫だ」と考えるあなたが避難すれば、それを見た周りの人も避難する



食料備蓄をする 備える！

最低3日分、できれば1週間分の備蓄を！

水は1人1日3リットル

人は何もしなくても1日2リットル以上の水分が汗などで失われます。飲料用と簡単な調理用に1人1日3リットル、家族の人数分を最低3日分、できれば1週間分の水を備蓄しましょう。

食事は家族で3日分

災害発生後3日間は救助・救命活動が優先されます。また、炊き出しや支援物資の到着に時間がかかるおそれもあります。食事は家族で最低3日分、できれば1週間分の食料を備蓄しましょう。

ローリングストック法

備えた食材を普段の食事で使いながら、なくなったものを買い足す方法です。



その他の備蓄 備える！

- 電気、水道、ガスといったライフラインは、大災害発生直後は停止し、利用が困難になります。
- 給水車等から水をもらうための、給水タンクや給水袋の備蓄も必須となります。
 - 水道が止まると、水洗トイレも使えないでの、簡易トイレや携帯トイレの備蓄も必要となります。（トイレは平均1人1日5回とされています）
 - ガスについても、家の中の配管が壊れたりすると、当分の間はガスが使えないでの、カセットコンロとガスボンベも多めに備蓄しておく必要があります。
 - 上記以外にも、それぞれのご家庭に合った備蓄品を用意するようにしてください。

各備蓄品は、在宅避難等に備えて1週間分が理想とされています。また、避難後でも安全が確認できれば、残りの備蓄品を自宅に取りに戻ることも可能です。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止などのために、長期間の自宅待機や外出禁止の場合も想定されますので、可能であれば1週間分以上の備蓄を心がけてください。

- 備蓄品は、なるべく高温多湿になる場所を避けて保管しておきましょう。
- 非常持ち出し品（リュック等）の中への食料や水は、3日分が理想ですが、入る分かつ持てる分だけ入れておきましょう。

ここ
ポイント

わが家の防災メモ

家族が別々の場所にいるときに災害が発生した場合は、お互いの安否を確認できるように、あらかじめ避難場所や連絡先等について話し合っておきましょう。

わが家の(指定)緊急避難場所

わが家の(指定)避難所

わが家の集合場所

外出先で災害が起こった場合の安否の確認方法や集合場所について、事前に決めておくことが大切です。

家族で集合場所が共有できるように書き込んでおきましょう。

安否の確認方法

一次集合場所

二次集合場所

わが家の連絡先(家族・親せき・知人)

名前 会社・学校名 / 電話番号 電話・携帯電話番号 / メールアドレス 備考 メモ(病気など)

わが家の避難先

名称 所在地 電話番号

その他に決めておくこと